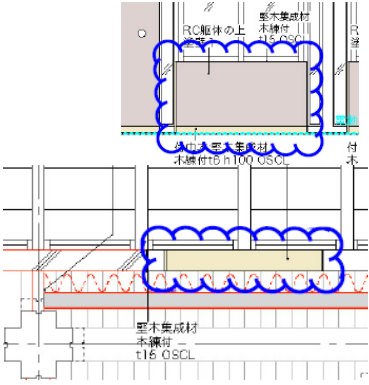
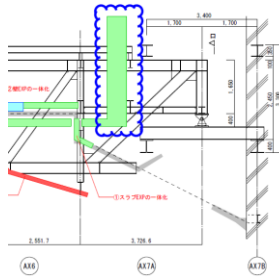
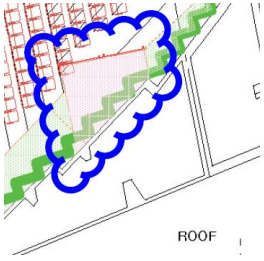
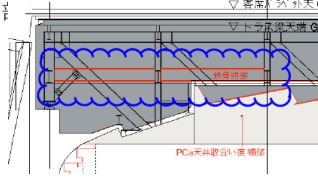
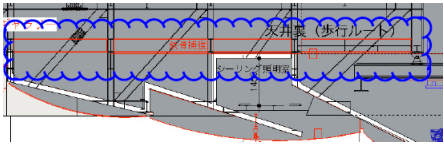
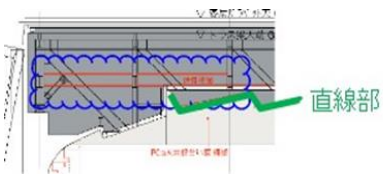
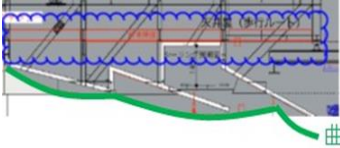
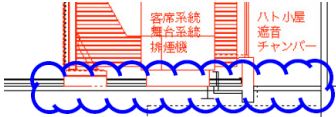
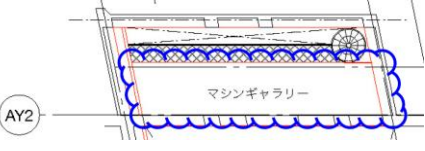


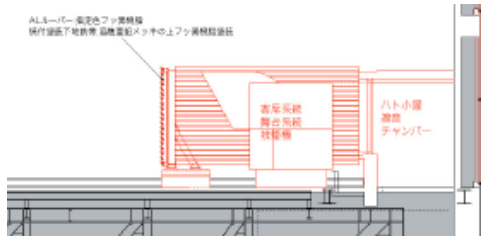
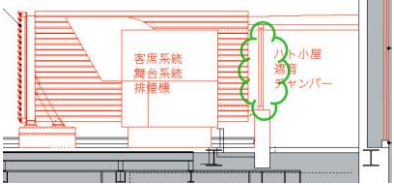
鳴門市文化会館耐震改修事業
参加表明以外に関する質問回答（令和6年5月27日）

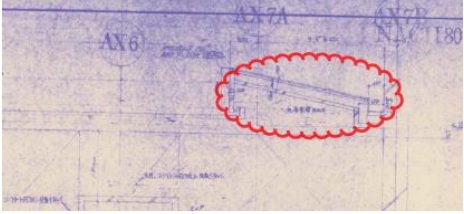
質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
1	実施要項 P11質疑	追加質疑及び質疑回答に対する質疑の期間として6月初旬、その回答日として6月中旬で6月17日以降に設定頂けないでしょうか。	追加質疑の受付はいたしません。
2	共通	改修工事に伴う解体工事内容・範囲が図面から読み取るのが難しい部分があります。解体内容・範囲がわかる資料をご提示願います。	既に提示している資料を基にご確認願います。
3	共通	基本設計図書に記載のない工事について、実施設計中・工事中、また調査業務や各種協議により追加工事が必要と判明した場合、それに伴うコスト増・工期延長は追加契約と考えてよろしいでしょうか。	請負代金額、工期の変更については、発注者と受注者とが協議して定めることとします。
4	S-00c A-106 A-107 A-204 A-261 A-266 A-290	躯体工事特記仕様書3で改修コンクリート強度は全般FC27Nです。下記躯体改修は全てFC27Nとして宜しいでしょうか。又、既存躯体強度はFC24Nです。変更となる範囲があれば御指示下さい。 <構造図記載> ＊梁増打 ＊壁増設・増打 ＊EVビット新設 ＊床閉塞 ＊1階スラブ復旧新設 ＊ホール天井スラブ新設 ＊屋根補強（スラブと壁の一体化） <意匠図のみ記載> ＊壁・床新設 ＊壁・床閉塞、壁・床開口補強 ＊機械基礎	全てFC27Nとしてください。 コア抜き圧縮試験の結果、既存躯体コンクリートの強度は設計基準強度Fc24を上回っているため、補強材の強度をFc27としています。
5	S-00c S-17	Y1通りー1，200の基礎梁補強の下記について御指示下さい。 ①躯体工事特記仕様書のY1通り根切部コンクリート強度FC18Nとは捨てコンを指し、増打躯体はFC27Nとして宜しいでしょうか。 ②撤去躯体は床T120+砕石T100として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	A-125 A-403 S-01 S-15	地下梁床伏図X4-5／Y1-2間のEV1ビット新設は受け梁追加+B1F壁H5400の指示ですが、意匠断面図ではビット下り壁のみと思われます。意匠図より下記と読替えて宜しいでしょうか。 ①基礎部受け梁は不要として宜しいでしょうか。 ②ビット下り壁は四周nWX1（1FL-1，650）として宜しいでしょうか。 ②ビット床は下記として宜しいでしょうか。 ＊T150+T250（二重床） D13@200タテヨコダブル スラブへスラブ間充填材 ：スタイロフォームT100 	①EVやEV周りの壁の重量を支えられないので、受梁は設けてください。 ②下がり壁は2辺は地下階スラブまで、もう2辺はお示しのレベルまでとしてください。 ③スラブについてはお見込みのとおりです。
7	A-127 A-405 S-01	地下梁床伏図のDX2-3／DY1-2間EV2ビット新設詳細が不明です。下記について御指示下さい。 ①ビット床の耐圧版は存置、土工事は不要として宜しいでしょうか。 （既存ビット天端＝B1FL-1，250） ②受梁は250x2000との指示ですが、①より下記詳細として宜しいでしょうか。 ＊W250×H1，250（耐圧版上に設置） ＊主筋上下2-D22 アンカー上下2-D13 ＊腹筋4-D13 アンカー4-D13 ＊あばら筋2-D13@200 シアキー2-D13@200	①不要と考えていますが詳細は実施設計にて検討して下さい。 ②主筋 上2-D22 下2/2-D22 アンカー 下2-D13 下2/2-D13 そのほかはお見込みのとおりです。
8	A-127 A-405 S-01	前記既設ビット上にEVビットを設ける場合、レベル調整がH220程度必要となります。下記詳細として宜しいでしょうか。 ＊嵩上げコンクリートFC18N（湧水マット有） ＊補強筋は不要	お見込みのとおりです。
9	S-15	補強リストでnGC1の左端+右端アンカー筋は140-D13の記載ですが、14-D13と読替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
10	S-16 S-17	スパイラル筋の使用範囲が不明です。W250以上の壁、梁に必要として宜しいでしょうか。	補強部材の厚さによらず、原則、直交する既存スラブや壁へアンカーを打ち込む場合は、セットでスパイラル筋を配置します。
11	S-16 S-17 S-22	スパイラル筋（φ6@100）の径が不明です。下記として宜しいでしょうか。 ＊壁厚250 →径150 ＊壁厚300以上→径200	お見込みのとおりです。

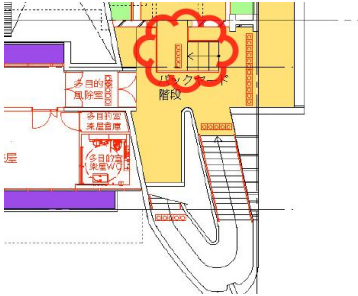
質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	回答
12	A-261 A-262	壁下地キープランに構造図に記載のないRC壁新設があります。下記詳細として宜しいでしょうか。 *W150 *D13@150シングルクロス あと施工アンカー1-D13 *端部補強筋1-D22 あと施工アンカー1-D22	D13@180ダブル配筋とします。
13	A-129 A-204	構造図に記載のないRC壁開口塞ぎは下記として宜しいでしょうか。 *W150 *D13@150シングルクロス あと施工アンカー1-D13	お見込みのとおりです。
14	A-135 A-204	ホール断面詳細の防水RC立上りは下記として宜しいでしょうか。 *W150 *D10@200シングルクロス あと施工アンカー1-D10	必要と想定される仕様を見込んで下さい。
15	S-15 S-17	RC壁増設の補強リストでnWA2a～cの上向きアンカーは補強詳細図2には記載がありません。不要として宜しいでしょうか。	不要とします。
16	A-141 S-17	多目的室Y1通りの下図壁は構造図で増打補強はありません。意匠壁面レベル調整の為、該当範囲に下記増打を必要として宜しいでしょうか。 *W250 D13@200ダブルクロス シアキー-D16@200 *スパイラル筋なし *コンクリート強度FC27N (Y1通り改修壁強度に倣う) 	お見込みのとおりです。 今後、実施設計にて検討して下さい。
17	S-15 S-16	RC壁増打WG、WHの補強リストであと施工アンカーは四周の指示ですが、上下に新設梁又は壁がある場合は下図のように貫通しています。あと施工アンカーは不要とし、スラブコア抜き+同径の差筋と読替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
18	S-15 S-16 S-17	上下階連続増打壁の端部補強筋D22は既設RCコア抜き+圧接の指示ですが、既設梁接続壁(nWB0、tWC1)の場合は下記として宜しいでしょうか。 *あと施工アンカー D22 Le=15d *圧接は不要	お見込みのとおりです。
19	A-124 S-21	屋根補強配置図3の下図範囲の補強要領が不明です。又、意匠断面図ではハト小屋立上り壁に見受けられます。詳細を御指示下さい。 	水平EXPの一体化と同様、鉛直部分についても片側の壁を800mm程はつり、もう一方の壁小口にはアンカー筋D16@150を配置して再打設により一体化とします。
20	A-262	意匠壁下地キープランに構造図に記載のないRCスラブ新設があります。下記として宜しいでしょうか。 *T150 在来型枠 *D13@150シングルクロス あと施工アンカー1-D13	お見込みのとおりです。

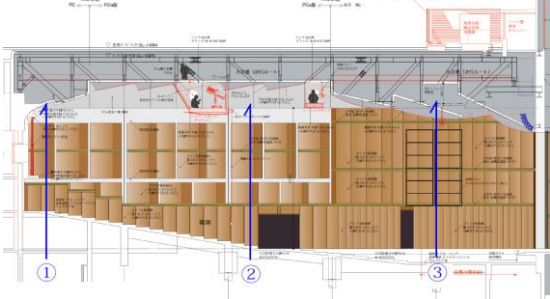
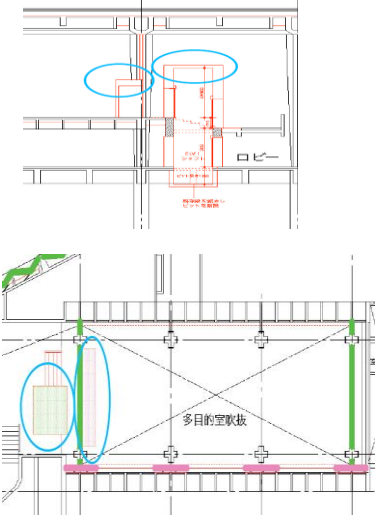
質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
21	A-262 A-263 S-23	意匠壁下地キープランの下図R Cスラブ新設について御指示下さい。 ①該当部は鉄骨造とし、屋根補強詳細図その他に記載の「フロントサイドギャラリー50kg/m ² 」を適用として宜しいでしょうか。 ②スラブ詳細は下記として宜しいでしょうか。 *フラットデッキT1.0 *T150 *D13@150シングルクロス あと施工アンカー1-D13 	①鉄骨数量は、照明バトン（片側）1200kgを参照ください。 ②お見込みのとおりです。
22	A-303	ハト小屋屋根は屋上防水キープランでR Cスラブ＋塗膜防水との記載です。下記として宜しいでしょうか。 *T150 *D13@150シングルクロス あと施工アンカー1-D13	お見込みのとおりです。
23	A-106	基本設計図書の特記項目数量1-34～38機械基礎配筋は下記詳細として宜しいでしょうか。 *主筋D16@200 あと施工アンカーD16@200 *帯筋D13@100	お見込みのとおりです。
24	A-107 S-22	基本設計図書の特記項目数量2-97のB1階床開口に下図改修を必要として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
25	A-123 A-290	X5-6/Y1-2間の目隠しルーバー鉄骨のR C基礎配筋は下記詳細として宜しいでしょうか。 *主筋D16@200 帯筋D13@100 あと施工アンカーD16@200	お見込みのとおりです。
26	A-124 A-290	A X 6－7 A間鉄骨屋根上に目隠しルーバー基礎及び設備R C基礎がありますが納まりが不明です。鉄骨上の納まりを御指示下さい。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
27	S-00e	鉄骨仕様は下記として宜しいでしょうか。 *屋外鉄骨：溶融亜鉛めっき *他：防錆処理	図面を正としてください。特記なき限り質疑の内容とします。
28	A-107	基本設計図書の特記項目数量2-53にトーマン鉄骨との記載がありますが何れを指すのか不明です。範囲及び鉄骨歩掛数量を御指示下さい。	舞台側プロセニウム両サイドの既存トーマンター鉄骨を指します。サイズは現地を正とします。
29	A-107	基本設計図書の特記項目数量2-88にバトンモーター基礎（鉄骨基礎）との記載がありますが詳細が不明です。台数及び鉄骨詳細又は歩掛を御指示下さい。	H鋼250×175 11m x2 です。
30	S-19	客席天井のスラブ新設について、下型枠はフラットデッキT1.0程度として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
31	A-139 S-23	屋根補強詳細図のその他にホール天井直線部、曲線部の鉄骨歩掛指示があります。下図範囲として宜しいでしょうか。 *直線部  *曲線部：A X 5－A X 7 B間 	「天井」とあるのは「天井材の下地鉄骨（LGSを含まない）」と読み替え、下図の緑線を参照ください。  
32	S-23	屋根補強詳細図のその他に「照明バトン片側 1200kg」との記載があります。1200kgを2か所必要として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
33	A-123 A-124	下記鉄骨について御指示下さい。 ①屋根上設備スペース新設に伴う鉄骨屋根補強は不要でしょうか。必要の場合は鉄骨歩掛を御指示下さい。  ②マシンギャラリー下地鉄骨の鉄骨歩掛を御指示下さい。 	①増設小梁等として、合計1500kgの鉄骨を見込んでください。 ②50kg/㎡を見込んでください。
34	A-123 A-290	室外機基礎詳細図の注記に「多目的室上部室外機置場は基礎の上、鉄骨架台を設置する」との記載があります。下記について御指示下さい。 ①架台基礎は@ 3, 6 0 0 程度に設けるとして宜しいでしょうか。	下階の柱直上に基礎を計画するため@7200です。
35	A005 A011	舞台上部のブドウ棚（スノコ）の部材配置・部材断面がわかる構造図がみつかりません。構造図をご提示願います。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
36	A005 A011 A015	バトンの滑車とワイヤーを上部鉄骨に設置とありますが、支持鉄骨の仕様は不明です。ご提示願います。また、既設鉄骨の補強は不要と考えてよろしいでしょうか。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
37	A005 E-005～016 M003～015 ST007～008	設備機器・舞台装置の新設・移設に関して、既存構造体の補強は不要と考えてよろしいでしょうか。必要となる場合は、補強要領をご提示願います。	不要とお考え下さい。
38	A005	設備機器の追加や配置変更・鉄骨下地・機械基礎・屋上ルーバー・客席内装仕上材等の追加による改修後の荷重増に対して、基本設計図の耐震補強量で耐震性能は満足できていると考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。詳細は実施設計にて検討して下さい。
39	A011 A015	スノコ上鉄骨にワイヤーを展開とありますが、スノコ上には滑車は設置しないため、スノコ鉄骨架構には滑車反力は生じないと考えてよろしいでしょうか。	スノコ上鉄骨下端に滑車を計画します。詳細は実施設計にて検討して下さい。
40	A015 A016 A139	反射板・水平庇・折面吸音壁・断面R部分の形状変更・曲面天井・木部天井・シーリングギャラリー、フォロースポットギャラリーに鉄骨下地が必要であれば、仕様をご提示願います。	必要と想定される鉄骨下地を見込んで下さい。
41	A015	シーリングギャラリー、フォロースポットギャラリーを新設する際に、屋根裏スラブ及びトラスPCaに開口を新設とありますが、補強要領をご提示願います。	必要と想定される補強を見込んで下さい。
42	A022 A032 04非構造部材報告書	避難エリアは2階「多目的室楽屋+多目的室」と1、2階「ロビー、ホワイエ」となっていますが、それ以外の部屋の天井の耐震補強は不要と考えてよろしいでしょうか。	天井伏図を基に計画して下さい。
43	A023 A290	多目的室上部屋上の設備機器用鉄骨ステージの鉄骨下地仕様、屋上目隠しルーバーの鉄骨下地ピッチ・胴縁ピッチ・軸ブレース（必要であれば）等の仕様をご提示願います。	必要と想定される鉄骨下地等を見込んで下さい。
44	A024 A133	特定天井を回避とありますが、ロビー・ホワイエは、緊結在来天井、既存アクリル板をワイヤー等にて落下防止措置とすることで、特定天井とはならないと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
45	A027～029	躯体改修1～3 それぞれの改修項目に対する対象面積・数量をご提示願います。	外壁改修計画図を基に算定願います。
46	A027～029	躯体改修1～3 未調査部で躯体の損傷が見つかった場合は、補修費の追加契約を行うと考えてよろしいでしょうか。	契約締結後、発注者との協議によります。
47	A032	目標耐震性能は $I_s \geq 0.75$ 、 $CTU \cdot SD \geq 0.375$ となっていますが、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和3年版）「Ⅱ類」で規定されている、変形制限値（荷重増分解析を用いた第3次診断法）・地下階の耐震安全性・基礎構造の安全性については、考慮しなくてもよいと考えてよろしいでしょうか。	変形制限値、基礎構造（杭）については既存建物の形状などを考慮し、その安全性の確認は再度行わないものと想定しており、地下階の耐震安全性は確認することを想定しております。実施設計着手後に評定機関と協議してください。
48	A032	目標耐震性能は $I_s \geq 0.75$ とありますが、この I_s 値とは「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説」（平成8年版）で規定されている、必要保有水平耐力の補正係数 α を考慮した構造耐震指標 $G I_s$ のことではなく、日本建築防災協会の耐震診断基準（第2次診断法）で規定されている構造耐震指標 I_s と考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。実施設計着手後に評定機関と協議してください。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
49	A032 A123 A128	屋上テラスのRC構造体の耐震補強は不要と考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。詳細は実施設計にて検討して下さい。
50	A032 A117～122	撤去しない既設間仕切り壁は、地震時の変形性能を備えているため更新は不要と考えてよいでしょうか。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
51	A032 A271～274	外部に面するガラス入り建具は、既設のままで、建築非構造部材A類の耐震性能を満足できているものと考えてよろしいでしょうか。	既存ガラスは全てフィルム貼りとし、地震時のガラス脱落を防ぐ計画としています。
52	A032 A271～274	外壁の耐震補強は不要と考えてよいでしょうか。	基本設計図書をご参照願います。
53	A033 S16 S17	既存天井スラブの強度や補強計画について、第三者判定機関の疑義により設計変更が必要となった場合、工事費の変更契約は可能と考えてよろしいでしょうか。	契約締結後、発注者との協議によります。
54	A120 A124	下手マシンギャラリーの新設に関して、既存構造体の補強は不要と考えてよろしいでしょうか。必要となる場合は、補強要領をご提示願います。	必要と想定される補強を見込んで下さい。
55	A135 A139	客席天井は、一体となっていないため、特定天井には該当しないと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
56	S-02～17	それぞれの補強耐震壁に期待しているせん断強度をご提示願います。	せん断応力度に換算して、補強壁には2.4N/mm2程度を期待しています。
57	要求水準書 p.11	補修が必要な非構造部材の見積内容及び数量をご提示願います。また、実施設計前に作成した調査報告書で、入札時の見積数量から変更が生じた場合は、増減契約すると考えてよろしいでしょうか。	基本設計図書及び既存図、現地確認等にて見積りをして下さい。入札時の見積数量から変更が生じた場合の対応については、契約締結後、発注者との協議により決定します。
58	A-023	基本設計図書の「避難所の耐震化工事に伴う避難所機能の検討BCPフェーズフリー計画2」で地下階受水タンクスペースにある受水槽を地上外部へ移設との記載があります。移設後の受水槽基礎及び周囲舗装・フェンス等の詳細が不明です。仕様・詳細を御指示下さい。	受水槽基礎、周辺舗装、フェンス等については必要と想定される仕様等を見込んで下さい。
59	A-123.135	客室A X 6～7 B 屋根上に排煙機置場及びハト小屋が下記の様に新設になっていますが、舞台屋根はA L C 屋根です。下記の納まり詳細図を御指示下さい。 ①目隠フェンス基礎 ②設備基礎 ③はと小屋廻り 	詳細は実施設計にて検討して下さい。
60	A-106.143	縦樋が特記項目数量1と外部仕上表でSUS撤去更新、躯体埋込は残置、既存図P4～9図参照とありますが、設備図の為、径毎に撤去・更新・残置がわかる建築図を御指示下さい。	既存図と現地確認を基に積算して下さい。
61	A-143	搬入庇の既存折板が外部仕上表の撤去仕上表では塗装補修ですが、改修仕上表では既存のままです。塗装補修を正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
62	A-143	上記折板屋根の塗装の下記について御指示下さい。 ①塗装の仕様 ②塗装は両面でしょうか。	①フッ素樹脂塗装 ②お見込みのとおりです。
63	S-103	上記折板屋根の鉄骨下地に塗装が必要な場合、下記について御指示下さい。 ①塗装仕様 ②鉄骨伏図 ③鉄骨部材リスト	①フッ素樹脂塗装。②③については現地確認等にてご確認下さい。
64	A-271	外壁改修計画図1の記号Eの単位備考が不明です。m2あたり1mとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
65	A-271	外壁改修計画図1の記号G、H、Iの単位がm2ですが、記号Fに倣い、mに読み替えて宜しいでしょうか。	m2あたりG、H、Iを1m施工するものとしてお読みください。
66	A-271	外壁改修計画図1の図面色塗の③-1(鉄筋爆裂の多い箇所)と③-2(特に鉄筋爆裂の多い箇所)の仕様がB、C、J、K、L、M、Nと同じですが、宜しいでしょうか。	立面見付け面積のヴォイド部分もm2数量で拾っていますため、当該表記となっています。
67	A-135	下記の客室屋根のハト小屋の緑雲マークは何を示しますか。 仕様・大きさを御指示下さい。 	排煙ダクトの開口塞ぎパネルを示しています。詳細は実施設計にて検討して下さい。
68	A-135 A-274	上記ハト小屋の緑雲マーク以外の新設RC外壁仕上げが不明です。外壁改修計画図4の中庭北面立断面図に倣い、塗壁1として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
69	A-106 A-118	特記項目数量1の番号34～38の屋上機械基礎の設置場所が不明です。番号34～38の設置場所を御指示下さい。	実施設計にて検討して下さい。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
70	A-290	屋上ルーバー詳細図に室外機基礎詳細図ありますが、上記の特記項目数量に含まれているとして宜しいでしょうか。含まれない場合は、寸法・仕様等をご指示下さい。	A290図目隠しルーバー詳細図より。ホール客席上部 控え材有：数量4、控え材無し：数量9。多目的室上部：控え材無し：数量6。詳細は実施設計にて検討して下さい。
71	A-106	特記項目数量1の番号34、35の屋上機械基礎の数量が1式ですが、1個を正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
72	A-106	上記仮定が異なる場合、それぞれのの数量を御指示下さい。	上記参照願います。
73	A-290	屋上ルーバー詳細図の目隠しルーバー詳細図に鉄骨支柱のコンクリート基礎が2種ありますが、それぞれの数量を多目的室上部とホール客室上部毎に御指示下さい。	No.70をご参照願います。
74	A-135 A-290	屋上ルーバー下地鉄骨が溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装ですが、部材割付・控え材位置がわかる伏図・軸組を多目的室上部とホール客室上部毎に御指示下さい。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
75	A-135 A-143	屋上ルーバー下地鉄骨が溶融亜鉛メッキの上の塗装が下記の様に異なります。フッ素樹脂塗装を正として宜しいでしょうか。 ＊ホール断面詳細図：フッ素樹脂塗装 ＊外部仕上表の改修仕上表の最下：フッ素樹脂焼付塗装	お見込みのとおりです。
76	A-290	屋上ルーバー詳細図の室外機基礎詳細図に多目的室上部 室外機置場は基礎の上鉄骨架台を設置とありますが、下記の不明点を御指示下さい。 ①鉄骨架台の伏図・部材 ②鉄骨架台の塗装の有無・仕様 ③鉄骨架台上の床材の有無・仕様	①詳細は実施設計にて検討して下さい。②溶融亜鉛メッキの上、フッ素樹脂焼付塗装。③床材はありません。
77	A-262 A-274	2階壁下地キープランのDX1・DY4にOA・SM・EAの外壁がRC新設ですが、仕上げは外壁改修計画図4の中庭北面立断面図に倣い、塗壁1を正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
78	A-026 A-303	屋上防水の既存ALCスラブ部の改修内容が下記の様に異なります。屋上防水改修を正として宜しいでしょうか。 ＊屋上防水改修：既存シート防水撤去後、仮防水を施工、断熱t25の上シート防水 ＊屋上防水キープラン（ピンク表示）：シート防水 断熱t25 外断熱仕様	お見込みのとおりです。
79	A-143	外部仕上表の屋上防水のホール客席屋根の備考欄に天井躯体補強工事のため一部ALC撤去とありますが、範囲が不明です。御指示下さい。	資材の搬出入のために撤去を想定していますが、評価基準別表 技術提案評価 B設計施工業務 イ）耐震補強計画でご提案ください。
80	A-143	上記ALCスラブ撤去後は新設ALCにて復旧として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
81	A-143	外部仕上表の屋上防水のホール客席屋根の備考欄に一部工事開口設置の為ため一部ALC撤去とありますが、範囲が不明です。御指示下さい。	資材の搬出入のために撤去を想定していますが、評価基準別表 技術提案評価 B設計施工業務 イ）耐震補強計画でご提案ください。
82	A-143	上記ALCスラブ撤去後は新設ALCにて復旧として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
83	A-143 既存D25	外部仕上表の屋上防水のホール客席屋根の備考欄にフライトワー取合い躯体の撤去とは下記既存図D25図赤雲マーク部として宜しいでしょうか。 	お見込みのとおりです。
84	A-143	外部仕上表の屋上防水のハト小屋屋根が塗膜防水 塗膜補修とありますが、ハト小屋の場所が不明です。御指示下さい。	A303図を参照願います。
85	A-143	上記の塗膜防水の塗膜補修の仕様内容を御指示下さい。	ウレタン塗膜防水密着工法です。
86	A-143	外部仕上表の屋上防水のエントランス底の備考欄のアクリルトップライトの改修内容が不明です。残置 既存のままとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。シールやボルトなどの劣化箇所は補修してください。
87	A-143 A-302	外部仕上表の撤去仕上表のフラワーボックスに砂利敷の上混合土撤去とありますが、2階防水キープランの旧フラワーボックス浅型（水色）と旧フラワーボックス深型（紫色）が該当範囲として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
88	A-207 A-209 A-274	既存建具表にAW24、25、37及びAG-1の改修備考欄にコンクリートにて開口塞ぎとありますが、外壁仕上げは外壁改修計画図4の中庭北面立断面図に倣い、塗壁1を正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
89	A-303	屋上防水キープランにおいて、下記緑実線部の客室屋根（ALC部）の水下側の排水溝がピンク表示ですが、妻側に倣い、青色表示に読み替えて宜しいでしょうか。 	お見込みのとおりです。
90	A-143 A-106	タラップの改修内容が下記のように異なります。撤去新設を正として宜しいでしょうか。 ＊外部仕上表：頂部一部撤去後手摺付に改修 ＊特記項目数量1の48:N a s t a K S - R T R G 3 4 7 s - 1 新設	お見込みのとおりです。
91	A-106	上記の数量が特記項目数量1で5式とありますが、設置場所又はタラップの高さを御指示下さい。	H1.5m x 2 1式、H2m 1式、H3m 1式、H8.3m途中切り替え有 1式、屋上X4 Y2付近既存タラップ更新H4.3m 1式。計5式。全てw400mm、上端手摺+900mm、SUS製。詳細は実施設計にて検討して下さい。
92	A-143 A-302	旧フラワーボックス深型のグレーチング蓋の仕様が下記のように異なります。SUS製を正として宜しいでしょうか。 ＊外部仕上表の改修仕上表のフラワーボックス：St ＊2階防水キープランの旧フラワーボックス深型：SUS	お見込みのとおりです。
93	A-143	上記グレーチング蓋の耐荷重及び参考メーカー・品番を御指示下さい。	指定はありません。
94	A-143	外部仕上表の屋上庭園 室外機置き場の備考欄の下記撤去の範囲が不明です。平面範囲と断面断面を御指示下さい。 ①自立遮音壁 ②外周部遮音壁	既存図D68図及び現地確認にてご確認願います。
95	A-289	手摺詳細図2の06バックヤード階段手摺において、ハンドレールは2段とありますが、図では1段です。ハンドレールは1段を正として宜しいでしょうか。	ハンドレールは2段です。収まり詳細は実施設計にて検討して下さい。
96	A-143 既存D-22	笠木バラベットが外部仕上表の撤去仕上表で表層剤撤去とありますが、既存矩計断面詳細図ではコンクリート金鍍押えです。表層剤撤去は無しとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
97	A-143	上記想定が異なる場合、表層剤の仕様を御指示下さい。	表層剤はありません。
98	A-143	外部仕上表の撤去仕上表の屋上庭園・中庭等に混合土撤去がありますが、植栽の撤去はありますか。必要な場合、樹種・数量を御指示下さい。	既存植栽の撤去が対象となります。現地を正としてご確認願います。
99	A-302	2階防水キープランの黄緑とオレンジ色の下記は既存防水から撤去し、防水を新設として宜しいでしょうか。 ①屋上植栽 ②屋上テラス ③西側テラス ④バックヤード階段踊場	お見込みのとおりです。詳細については実施設計にて検討して下さい。
100	A-302 既存D-50 既存D-69B	下記赤雲マークのバックヤード階段の小階段は既存図C階段によりプレキャストコンクリート階段の撤去として宜しいでしょうか。 	基本設計図書ではバックヤード階段の小階段の撤去復旧としております。詳細については実施設計にて検討して下さい。
101	A-302	上記小階段撤去後の新設階段の構造と仕上がりが不明です。RC造＋白色四丁掛け艶消しタイルとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
102	A-302	2階防水キープランの黄緑色表示：屋上植栽に屋上緑化がありますが、樹種等が不明です。下記について御指示下さい。 ①樹種・数量 ②客土 仕様・高さ	①サツキツツジ(常緑 低木)m2あたり9株。 ②人工軽量土壌 h300程度。
103	A-144～151	内部仕上表の特記事項に改修仕上げ「既存のまま」は劣化部分や撤去痕など補修仕上げと記載がありますが補修方法等が不明です。仕様・詳細をご指示願います。	撤去跡については既存仕上げ同等を見込んでください。

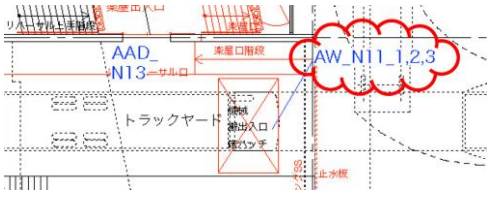
質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	回答
104	A-107	特記項目数量2の52～55番に鉄骨暗色塗装の記載がありますが拾える図面・資料、歩掛及び指示数量等を御指示下さい。 *52番 ホールフロントサイド鉄骨 暗色塗装*53番 トーメン鉄骨暗色塗装 *54番 シーリングギャラリー鉄骨 暗色塗装*55番 フォロースポット鉄骨 暗色塗装	必要と想定される数量等を見込んで下さい。
105	A-150.264	舞台脇上部マシンギャラリー下地鉄骨が不明です。鉄骨数量・塗装が積算できる図面・資料、歩掛及び指示数量等を御指示下さい。	必要と想定される下地鉄骨を見込んで下さい。
106	A-135	舞台天井反射板：FGB t 8+8木練付FGB t 6 OSC Lの吊元の詳細・位置が不明です。吊元の詳細・位置を御指示下さい。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
107	A-124.135.137	ホール客席の下手・上手通路側の断面が不明です。下記①②③周辺の断面詳細を御指示下さい。 	詳細は実施設計にて検討して下さい。
108	A-107	特記項目数量2に下記記載がありますが改修内容が不明です。詳細・改修要領を御指示下さい。 *61. 躯体スラブ塞ぎ 500×500程度 100か所 *62. 躯体開口補強（RC壁面）250φ 100か所 *63. 躯体開口補強（RC壁面）450φ 50か所 *64. 躯体開口補強（RCスラブ）600φ 30か所	※61：スラブ小口各辺にアンカー筋2-D13シングル（計8-D13）を設置後、コンクリート打設 ※62：メッシュφ6@100、グラウトまたはコンクリート充填 ※63：メッシュφ6@100、グラウトまたはコンクリート充填 ※64：スラブ小口にアンカー筋8-D13シングルを設置後、コンクリート打設
109	A-125.263	下図青マーク部の屋根の納まり仕様・詳細が不明です。御指示下さい。 	ELV1シャフト上部：根太鋼50x50xt2.3@900mm程度 StPL2.3 SOP。 多目的室前室屋根：RCスラブt120です。
110	A-106	特記項目数量1に39. 屋内機械基礎1式とありますが寸法・仕様・箇所数が不明です。寸法・仕様・箇所数等積算できる資料をご提示下さい。	大型機械コンクリート基礎：4000x2000 h150 数量40、小型機械コンクリート基礎：1000x1000 h200 数量80。
111	A-020 A-144	地下1階リハーサル室の改修後床仕上が下記のように異なります。フローリングを正として宜しいでしょうか。 *建築概要（リハーサル室の改修）：リノリウムシート t 2.5 *改修仕上表：フローリング	お見込みのとおりです。
112	A-146	1階ホール客席の下記改修後床仕上の使い分け範囲を御指示下さい。 *客席床：フローリング *客席通路：タイルカーペットA	縦通路：タイルカーペットA、縦通路以外はフローリングです。
113	A-146	前記ホール客席のそれぞれの蹴込仕上及び段鼻ノンスリップの詳細について御指示下さい。	蹴込仕上：既存躯体補修 段鼻ノンスリップ：堅木ノンスリップ OSCL 溝堀2本底面蓄光塗料塗装です。A106図 特記項目数量1 44番にある数量が該当します。この項目に限り1フロビーホワイエをホールと読み換え願います。
114	A-147	改修仕上表（1階楽屋出入口）で床シート防水一部撤去とありますが改修後は室内となりますが、改修後に防水の復旧は必要でしょうか。	改修後に室内となる範囲は防水の復旧は必要ありません。
115	A-148.151 A-262	改修後2階ロビースロープからロビー階段2までの床鋼製下地の詳細が不明です。御指示下さい。	一般部参考：桐井製作所GTクイーンST、勾配部参考：勾配クン です。
116	A-107	特記項目数量52～55に記載の鉄骨面暗色塗装は、SOP塗装として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
117	A-150	シーリングギャラリー・フォールスポットギャラリー及びマシンギャラリーの床PL面にもSOP塗装が必要として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
118	A-150	ロビー階段２の踏面断面詳細は下記として宜しいでしょうか。 ＊踏面：フローリング ＊階面：モルタル メッシュφ3．２－５０×５０ ＊階段：スチールプレート ＊蹴込：ＳＯＰ ＊段鼻：堅木 溝２本 ＵＣ ＊上裏：ＳＯＰ	お見込みのとおりです。
119	A-145	改修仕上表で１階和風ロビー天井：新設ＲＣの上塗壁１とありますが範囲が不明です。御指示下さい。	北側壁面耐震補強壁の仕上げ面を示します。
120	A-147	改修仕上表で１階楽屋出入口天井：新設ＲＣの上塗壁１とありますが範囲が不明です。御指示下さい。	A274図トラックヤードの奥面「RC躯体新設の上 塗壁１」の内側面積を示します。
121	A-150	改修仕上表で３階音響調整室・調整室及び調光室の天井仕上が暗色とありますが、暗色塗装ＥＰとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
122	A-150	改修後３階音響調整室・調整室及び調光室の天井：岩綿吸音板下地はＰＢｔ１２．５として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
123	A-135 A-139 A-146	ホール客席天井立上り塗装部のボード仕様が下記の様に異なります。ＧＢ－Ｒｔ１２．５＋１２．５を正として宜しいでしょうか。 ＊ホール断面詳細図：ＦＧＢｔ８＋８ ＊ホール天井伏図：ＦＧＢｔ８＋８ ＊改修仕上表：ＧＢ－Ｒｔ１２．５＋１２．５	お見込みのとおりです。
124	A-139. 146	ホール天井伏図で下手通路及び上手通路の天井下地ボードがＦＧＢｔ８＋８とありますが、改修仕上表（ホール客席）の天井平面塗装部：ＧＢ－Ｒｔ１２．５＋１２．５に読み替えて宜しいでしょうか。	音響的に機能する部分のためＦＧＢｔ８＋８を正とします。
125		新設ＬＧＳ壁の施工高さは耐火壁・遮音壁以外は基本天井止めとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。詳細については実施設計にて検討して下さい。
126	A-146	ホール客席及び通路床のモルタル下地は、既存モルタルを利用として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
127	A-145	改修仕上表（１階風除室４）に壁ＲＣ新設：化粧打放しの上撥水剤塗布とありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	１階風除室４に新設躯体はありません。ロビー階段側の北側外壁とELV1壁面の間が新規乾式壁です。
128	A-146	舞台及び脇舞台ＦＬ＋２８００以下の壁木毛セメント板の厚みが不明です。Ｔ２５として宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
129	A-149	改修仕上表（２階多目的室）で壁：木練付板の表面仕上がＣＬ塗とありますが、ＯＳＣＬ塗として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
130	A-149	改修仕上表（２階多目的室）で巾木：木練付の表面仕上がＣＬ塗とありますが、ＯＳＣＬ塗として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
131	A-141 A-149	２階多目的室の巾木高さが下記の様に異なります。Ｈ１００を正として宜しいでしょうか。 ＊多目的室矩計図：Ｈ１００ ＊改修仕上表：Ｈ６０	お見込みのとおりです。
132	A-141. 149	２階多目的室壁：木練付板に堅木枠とありますが、どのように取り付けるのでしょうか。イメージがわかるスケッチ等を御指示下さい。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
133	A-147	改修仕上表（１階楽屋１～４）でＬＧＳ新設部のボード仕様が下記２種類ありますが、使い分け御指示下さい。御指示下さい。 ＊ＧＢ－Ｓｔ９．５＋１２．５ ＊ＧＢ－Ｒｔ９．５＋１２．５	ＧＢ－Ｒｔ９．５＋１２．５にて統一してください。
134	A-142. 146	１階ホール客席背面壁：ファブエースは２階ロビー・ホワイエ同様に底目地として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
135	A-141. 142	２階多目的室（短手面）壁：ファブエースは２階ロビー・ホワイエ同様に底目地として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
136	A-79. 127	新設ＥＬＶ１・２のピット内仕上が不明です。御指示下さい。	１のピット：底面、壁とも塗膜防水。２のピット底面：床用断熱排水パネルt75（参考：デュボン・スタイロ ドースイライナー）の上スラブt150、壁面塗膜防水です。
137	A-149	改修仕上表（エレベーター１シャフト壁）の備考欄に壁天端抑え木練付ＣＬとありますが、ＯＳＣＬに読み替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
138	A-140	ホール客席背面２階の壁仕上が下記の様に異なります。展開図を正として宜しいでしょうか。 ＊ホール客席矩計図（展開図）： ＧＢ－Ｒｔ１２．５＋１２．５ の上モルトンＴ２５不織布 ファブリック 川島織物 ＦＡＢ－ＡＣＥハードタイプ ＊ホール客席矩計図（断面）： ＧＢ－Ｒｔ１５＋９．５＋ 準不燃鋼板Ｔ５．５堅木木練付 ＯＳＣＬ 壁面の１／２ ＧＷ５０充填 有孔準不燃合板Ｔ５．５ 堅木木練付ＯＳＣＬ	お見込みのとおりです。
139	A-135. 136	舞台壁反射板（扉含む）の下地鉄骨の詳細が不明です。御指示下さい。	詳細は実施設計にて検討して下さい。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
140	A-127	E L V 2 ビット床の湧水マットの仕様・厚みが不明です。御指示下さい。	スラブt150 湧水パネルt70
141	A-104. 145	特記仕様書 4 ㊟壁紙張りで施工場所が親子休憩室とありますが改修仕上表ではE P 塗装と異なります。E P 塗装を正として宜しいでしょうか。	E P 塗装を正とします。
142	A-104	特記仕様書 4 ㊟壁紙張りで塗装下地用クロス施工場所がアトリウム・1 ～ 4 F ロビーとありますが今回該当なしとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
143	A-141. 149 A-135. 146 A-135. 146 A-125. 149	下記場所の木練付材の仕様を御指示下さい。 ① 2 階多目的室壁 ② ホール客室壁・天井 ③ 舞台反射板壁・天井 ④ E L V 1 屋根	全て、ホワイトオーク柃目です。
144	A-135. 146	舞台・脇舞台壁防湿シートの仕様が不明です。御指示下さい。	参考:フクビ化学工業 気密・防湿シート パリアエース同等品以上です。
145	A-201	既存図 1 階建具キーブランのD X 3 通りにAW 1 7 A : サッシと壁と取合いボードにてスパンドレル設置とありますが詳細を御指示下さい。	ケイ酸カルシウム板t21EPです。
146	A-225	木製額縁は堅木集成材T 1 5 として宜しいでしょうか。	堅木集成材の場合、木練付としてください。
147	A-224	木製障子枠の樹種・厚みを御指示下さい。	既存同等としてください。
148	A-151 A-288	ロビー階段 2 の踏み板の仕上が下記のように異なります。フローリングを正として宜しいでしょうか。 *改修仕上表 : フローリング *手摺詳細図 1 : 木集成材T 1 5 UC 塗装	お見込みのとおりです。
149	A-141	多目的室矩計図で 2 階多目的室の床: フローリングにO S C L 塗装の指示がありますが、リハーサル室や客室等の床フローリングにもO S C L 塗装が必要として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
150	A-140	ホール客席矩計図で 3 階部分の壁仕上がG B - R t 1 5 + 9 . 5 + 準不燃合板 t 5 . 5 堅木練付O S C L うち 1 / 2 はG B - R t 1 2 . 5 + 1 2 . 5 の上モルトン t 2 5 不織布ファブリック川島織物F A B - A C E ハードタイプ同等品以上とありますが、矩計図では堅木練付合板のように見受けられます。 3 階部分は全面G B - R t 1 5 + 9 . 5 + 準不燃合板 t 5 . 5 堅木練付O S C L として宜しいでしょうか。	ホール客席矩計図で 3 階部分の壁仕上は、G B - R t 1 5 + 9 . 5 + 準不燃合板 t 5 . 5 堅木練付O S C L うち 1 / 2 はG B - R t 1 2 . 5 + 1 2 . 5 の上モルトン t 2 5 不織布ファブリック川島織物F A B - A C E ハードタイプ同等品以上が正です。
151	A-144	機械室廻りに新設耐火遮音間仕切S 1 2 ・W I がありますが施工高さが 5 M 以上となるため鉄骨による補強が必要となります。詳細を御指示下さい。	必要と想定される鉄骨補強を見込んで下さい。
152	A-117	新設E L V 1 ・ 2 周囲の壁の納まりは耐火間仕切S ウォール+フカシ壁として宜しいでしょうか。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
153	A-148	改修仕上表 (2 階ロビー) で現場テラゾ床残置の範囲が不明です。御指示下さい。	A262で、ロビー階段 1 の 2 階レベル、ELV1を除くハッチの無い範囲を示します。
154	A-147 A-147 A-145 A-147 A-151 A-144 A-146 A-149 A-151 A-147 A-144 A-144 A-146. 147 A-151 A-148. 150 A-146. 148 A-145. 150	下記項目のメーカー及び商品名を御指示下さい。 ①WC床／塗膜防水 ②WC床／御影石 ③風除室 4 床／床寒水擬石小叩き ④ 1 階楽屋出入口床／クリンカータイル ⑤ 1 階楽屋出入口階段／四丁掛白色タイル ⑥地下 1 階リハーサル室床／フローリング ⑦ホール客席床／フローリング ⑧ 2 階多目的室・前室／フローリング ⑨ 2 階ロビー階段 2 踏面／フローリング ⑩ 1 階楽屋給湯室壁他／V P 吹付 ⑪地下 1 階リハーサル通路床他／ビニールシート ⑫地下 1 階E L V ロビー床／ビニールシート A ⑬ 1 階楽屋前室床他／ビニールタイル ⑭ロビー階段 1 階段／カーペット ⑮ 2 ・ 3 階フロントサイド床他／ ニールドパンチカーペット B ⑯ 2 階ホワイエ・前室床他／タイルカーペット A ⑰ 1 階親子室床他／タイルカーペット B	参考メーカーリストを提供しますので特定事業推進課まで申し出てください。リストに明記のない仕上げについては現地の仕様をもとに積算ください。新規材については、公共文化施設として仕上げ表等を参照し標準的な仕様を見込んで下さい。
155	A-107 A-020 A-131～134 A-139～141 A-144～149 A-153	カーテンボックスとカーテンレールの設置場所・数量が、特記項目数量 2 ― 8 1 ・ 8 2 と内部仕上表・天井伏図・その他詳細図と異なります。図面で計測した数量を正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
156	A-139 A-140	ホール背面カーテンボックスが下記のように異なります。堅木木練付H 1 5 0 として宜しいでしょうか。 *ホール天井伏図： 堅木木練付H 1 5 0 *ホール客席矩計図－展開図： 堅木木練付H 1 0 0 *ホール客席矩計図－断面図： 堅木木練付H 1 5 0	お見込みのとおりです。詳細は実施設計にて検討して下さい。
157	A-288	手摺詳細図 1 で、下記手摺の金物の仕様が不明です。金物は全てスチール アクリル樹脂焼付塗装として宜しいでしょうか。 * 0 4 2 階ロビースロープ手摺 * 0 5 2 階ロビー落下防止手摺	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
158	A-288 A-289	手摺詳細図で、下記手摺のハンドレールは２段と有りますが、姿図は１段と異なります。２段として宜しいでしょうか。 ＊０１ホワイエ階段手摺 ＊０２ロビー階段１手摺 ＊３．１ロビー階段２手摺 ＊０４２階ロビースロープ手摺 ＊０８リハーサル室階段手摺	全て２段として下さい。
159	A-288 A-289	上記質疑で、２段を正とする場合、自立手摺の断面詳細が不明です。御指示下さい。 ＊０２ロビー階段１手摺 ＊３．１ロビー階段２手摺 ＊０４２階ロビースロープ手摺 ＊０８リハーサル室階段手摺	詳細は実施設計での検討事項としますが必要と想定される部材等を見込んで下さい。
160	A-288	手摺詳細図１で、０３．１ロビー階段２手摺の支柱以外のパネル下地の詳細が不明です。御指示下さい。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
161	A-289	手摺詳細図２で、Ｈ０４バックヤード手摺の高さが不明です。Ｈ１１００として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
162	A-121	改修図天井裏スノコレベルで、ブリッジと有りますが、詳細が不明です。御指示下さい。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
163	A-106 A-144	ピクチャーレールの数量が下記の様に異なります。特記項目数量１を正として宜しいでしょうか。 ＊特記項目数量１－No.23：５０M ＊内部仕上表 B１Fリハーサル室通路：２６M	お見込みのとおりです。
164	A-106 A-131 A-145	内部仕上表の１階ロビー、ホワイエ、和風ロビーに照明ボックスと有りますが、下記を照明ボックスとして宜しいでしょうか。 ＊１階天井伏図： ロビー、ホワイエ、 和風ロビーの凡例S t . B ＊特記項目数量１－No.25 S t 照明BOX配線コラム 「S t T2.3曲げ加工 アクリル樹脂焼付塗装 W250×H200は １Fロビー・ホワイエに８３m」	特記項目数量１－No.25が正です。
165	A-106 A-145	上記質疑を正とする場合、下記の様に数量が異なります。特記項目数量１を正として宜しいでしょうか。 ＊１階天井伏図：６７M ＊特記項目数量１－No.25：８３M	特記項目数量１－No.25が正です。
166	A-144 A-145 A-149	内部仕上表で、下記WCの照明ボックスの数量（設置範囲）、仕様、断面寸法が不明です。御指示下さい。 ①B１F地下男子WC ②B１F地下女子WC ③B１F地下多目的WC ④１Fホール男子WC ⑤１Fホール女子WC ⑥１Fホール多目的WC ⑦１Fロビー男子WC ⑧１Fロビー女子WC ⑨１Fロビー多目的WC ⑩１F楽屋多目的WC ⑪１F楽屋女子WC ⑫１F楽屋男子WC ⑬２F多目的室楽屋多目的WC	高さ200mm x 奥行き200mm St t2.3曲げ加工 フッ素樹脂焼付塗装、光源が利用者から見切れることを前提とします。詳細は実施設計にて検討して下さい。
167	A-107	上記質疑と関連します。特記項目数量２－No.66で、天井折り上げ間接照明ボックス「LGS下地 ボード加工 240×200 内部塗装共 計200M」と有りますが、下記の不明点を御指示下さい。 ①設置場所及び部屋別の数量 ②ボード加工の仕様 ③内部塗装の仕様	①実施設計にて検討して下さい。 ②GB-R9.5+12.5 ③EP
168	A-107	特記項目数量２－No.97で、地下リハーサル室に「防水防臭型モルタル用フロアーハッチ600×600 中部コーポレーション MS-1-WL-600」と有りますが、図中で見受けられません。特記項目数量２を正として宜しいでしょうか。	地下１階WCを想定しており数量は５です。
169		上記質疑を正とする場合、下記の不明点を御指示下さい。 ①既存スラブに開口を設けてフロアーハッチを設置として宜しいでしょうか。 ②フロアーハッチ下にタラップが必要な場合、仕様、寸法、段数を御指示下さい。	①お見込みのとおりです。 ②SUS w400 3段 数量５です。
170	A-009 A-135 A-148 A-150	内部仕上表及び３階平面計画エリア色分け図で、２・３階フロントサイドにタラップを新設と有りますが、ホール断面詳細図で見受けられません。タラップの数量、寸法、詳細を御指示下さい。	St固定梯子形状とし１階から２階レベル昇降高さ3185mm、２階から３階レベル昇降高さ2515mm。それぞれ900mmまで手摺有、w400mm、塗装SOP。上手側下手側各１セットづつ。詳細は実施設計にて検討して下さい。
171	A-135	ホール客席天井のアルミルーバーは指定色アクリル焼付塗装と有りますが、詳細を御指示下さい。	A290図 目隠しルーバー同材です。詳細は実施設計にて検討して下さい。
172	A-147	内部仕上表で、１F楽屋出入口に「トラックヤード側S t Lアングルルーバー」と有りますが、図中で見受けられません。設置場所、詳細を御指示下さい。	誤記です。
173	A-107	特記項目数量２－No.65で、天井仕上開口補強は７００か所と有りますが、サイズが不明です。御指示下さい。	サイズ 600mm x 600mmです。
174	A-003	基本性能の改善・ユニバーサルデザイン計画で、階段の両側手摺注意喚起表示と有りますが、下記不明点を御指示下さい。 ①階段昇り口、降り口に設置として宜しいでしょうか。 ②仕様、寸法を御指示下さい。	両側手摺と床注意喚起表示を示しています。それぞれ、手摺詳細図と特記項目数量を参照ください。
175	A-136	１Fホール女子WCにパウダーカウンターが有りますが、仕様が不明です。御指示下さい。	鏡w350 h1000 t5、鏡下地ポリエステル化粧板t15、鏡見切SUS FB-25x3 四周。壁からの持ち出し125mm、ポリエステル化粧板t25。詳細は実施設計にて検討して下さい。
176	A-003	１F親子室にベビーベットの有りますが、参考メーカー・品番を御指示下さい。	参考：Combi エンジェルKおむつ交換台単体 KH41（おむつ交換台用ホールディングマット）K041S（おむつ交換台用背板単体）K041T（おむつ交換台用側板2枚組）の組み合わせ品です。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
177	A-106 A-117～123	注意喚起ブロック床点字タイトルの数量が下記の様に異なります。特記項目数量を正として宜しいでしょうか。 *特記項目数量1ーNo.4 0： 1 1 3 か所 *各階平面図： 1 0 8 か所	お見込みのとおりです。
178	A-106 A-117～123	誘導ブロック床点字タイトルの数量が下記の様に異なります。特記項目数量を正として宜しいでしょうか。 *特記項目数量1ーNo.4 1： 2 0 か所 *各階平面図： 無し	お見込みのとおりです。
179	A-107 A-149	ピアノガードの高さが下記の様に異なります。特記項目数量を正として宜しいでしょうか。 *特記項目数量2ーNo.7 4： H 2 0 0 *内部仕上表： H 3 0 0	H200が正です。
180	A-107	特記項目数量2ーNo.7 6で、楽屋に「固定式化粧前 既存材を残置補修し再利用工事期間中は養生を行うこと」と有りますが、固定式化粧前の詳細が不明です。御指示下さい。	既存図及び現地確認にてご確認願います。
181	A-144	内部仕上表で、踊場L Vチャンパーに点検口設置と有りますが、仕様、寸法、数量が不明です。御指示下さい。	A219図の「SD_N02M」を指します。
182	A-146	内部仕上表で、ホール音響反射板可動部側面・天井に扉部視窓2 5 0×1 5 0と有りますが、仕様、数量が不明です。御指示下さい。	舞台袖側内開き、木練付フラッシュ扉t30 OSCL塗装仕上げ 内開き側ツマミ付き、数量：4です。
183	A-141 A-153	2階多目的室のブラインドが下記の様に異なります。多目的室矩計図を正として宜しいでしょうか。 *カーテン、ブラインド数量表 ・電動吸音暗転カーテン W 7 1 0 0×H 6 7 0 0 3 か所 W 7 1 0 0×H 1 8 0 0 3 か所 ・手動吸音暗転カーテン W 7 1 0 0×H 2 7 5 0 3 か所 *多目的室矩計図 ・電動吸音暗転カーテン W 7 1 0 0×H 6 7 0 0 3 か所 W 7 1 0 0×H 1 8 0 0 6 か所	カーテン、ブラインド数量表が正です。
184	A-153	上記質疑で多目的室矩計図を正とした場合、電動カーテンの合計数量は1 1 か所（ホール2 か所、多目的室9 か所）となります。カーテン、ブラインド数量表の電動カーテンレール9 か所は1 1 か所に読み替えて宜しいでしょうか。	No.183の回答をご参照願います。
185	A-144 A-153	B 1 階リハーサル室1～3のカーテンが下記の様に異なります。カーテン、ブラインド数量表を正とし、本工事として宜しいでしょうか。 *内部仕上表： 別途 *カーテン、ブラインド数量表 W 7, 7 5 0 H 2, 4 0 0 2 か所 W 7, 9 0 0 H 2, 4 0 0 1 か所	カーテン、ブラインド数量表が正です。
186	A-137	ホール2階平面詳細図で、車椅子椅子席1 2 0 0×8 5 0が1 0 席と有りますが、スペースのみとして宜しいでしょうか。見込む物があれば御指示下さい。	A316、317図のように手摺と脱輪防止立ち上がりを設置します。
187	A-107	特記項目数量2ーNo.9 2で、既存ベンチ補修：補修既存表面研磨の上U Cが6 か所と有りますが、詳細が不明です。御指示下さい。	誤記です。
188	A-107	特記項目数量2ーNo.9 9で、既存木製ベンチ補修：補修既存表面研磨の上U Cが7 か所と有りますが、詳細が不明です。御指示下さい。	詳細については、現地を正としてください。
189	A-113, 148, 149	仕上表、改修図3階天井伏図において光天井アクリル板改修について既存アクリル板を調査しワイヤー等にて落下防止処置を行うと記載がありますが、ワイヤー径、吊りピッチ、吊元等詳細をご指示下さい。また、周囲の緊結在来天井の緊結方法をご指示下さい。	必要と想定される補強部材を見込んで下さい。
190	A-215 A-224	LSD_N11の数量に下記の相違があります。2か所として宜しいでしょうか。 *改修図 1階建具キープラン ：2か所 （ホール多目的WC、ロビー多目的WC） *改修建具表 新規（LSD） ：1か所	お見込みのとおりです。
191	A-215 A-221	改修図 1階建具キープランで前室1-4にSD_12_4A・4Bの図示がありますが、改修建具表 新規SD1階の使用箇所よりSD_11_4A・4Bに読替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
192	A-215 A-221 A-222	改修図 1階建具キープランでホワイエ倉庫1-1～4にSD_N13_1～4の図示がありますが、改修建具表 新規SD1階でSD_N13_1～4は楽屋1～4の扉です。ホワイエ倉庫1-1～4の扉は下記として宜しいでしょうか。 *改修建具表 新規SD2, 3階のSD_N31_1に倣う	お見込みのとおりです。
193	A-213 A-216 A-222	改修図 2階建具キープランでロビー多目的室倉庫にSD_N23_1の図示がありますが、改修建具表で不明です。下記として宜しいでしょうか。 *寸法：W1520×H2170 （撤去建具WD23にあわせる） *寸法以外は改修建具表 新規SD2, 3階のSD_N21_7Aに倣う	お見込みのとおりです。
194	A-219 A-223	改修図 地下1階建具キープランで受水タンクスペースにSD_N09_1の図示がありますが、改修建具表 新規SD地下1階の使用箇所よりSD_N08_2に読替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
195	A-219 A-225	改修図 地下1階建具キープランで地下男子WCにS_N01_2の図示がありますが、改修建具表 新規（SSD SDK AW）の使用箇所よりS_N01_1に読替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
196	A-215 A-224	改修建具表 新規（AAD AG SSH TGW LSD S）で下記の建具が改修図 1階建具キープランで不明です。建具表とおり新規で見込んで宜しいでしょうか。 *AAD_N14A（1か所） *AG_N11_1（1か所）	お見込みのとおりです。
197	A-215	改修図 地下1階建具キープランでトラックヤードにAW_N11_1, 2, 3の図示がありますが、誤記として宜しいでしょうか。 	お見込みのとおりです。
198	A-219 A-223	SD_N02MのW寸法に下記の相違があります。W900として宜しいでしょうか。 *改修図 地下1階建具キープラン ：W900（図面計測） *改修建具表 新規SD地下1階 ：W1600	お見込みのとおりです。
199	A-221	改修建具表 新規SD1階でSD_N12_3Bの扉仕上がSOPとありますが、外部ですのでフッ素樹脂焼付塗装として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
200	A-103 A-220	ステンレス製建具の曲げ加工に下記の相違があります。角出し曲げとして宜しいでしょうか。 *特記仕様書3：普通曲げ *鋼製建具標準詳細図 SSD共通事項：角出し曲げ	お見込みのとおりです。
201	A-221 ～225	改修建具表 新規SDの図下特記に「*特記無き限りガラスは飛散防止フィルム貼りとする」と記載がありますが、SD以外の建具ガラスにおいても適用として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
202	A-220	鋼製建具標準詳細図で特記なき限りスチール部の仕上塗装に「EPG塗装（内部、つや消し）」の記載がありますが、内部のスチール部塗装はSOP塗装として宜しいでしょうか。 *特記なき限りスチール部の仕上は全て溶融亜鉛メッキの上、塗装は環境に応じて以下の3種とする。 錆止め塗装(仕上げ下地)、EPG塗装(内部、つや消し)、フッ素樹脂塗装(外部)	改修建具表を正とします。
203	A-220 ～223	鋼製建具標準詳細図 建具共通事項において「SD扉仕上げ／緞子張り：FAB-ACE ソフトタイプ川島織物セルコン同等品、生地：ラムース メラミン柄ALRC 旭化成同等品」の記載がありますが、改修建具表 新規SDで不明です。SD扉仕上で前述仕上に該当する建具がありましたら、御指示下さい。	今回の計画では該当建具はありません。
204	A-215 A-220 A-224	鋼製建具標準詳細図 SSD共通事項において「風除室1～4を構成する外側のSSDには全て枠内の光電センサーを用いたビープルカウンターを設置し、事務室で自動で集計されるシステムとする」と記載があります。風除室1・3・4の外側はAADですが、前述は適用として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
205	A-224 A-225	外部新設建具廻りシーリングの仕様は下記として宜しいでしょうか。 *変成シリコン系 15×10+15×10（二重シール）	お見込みのとおりです。
206	A-201 A-206	SD18の改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 *既存図 1階建具キープラン ：残置 *既存建具表 ：撤去	お見込みのとおりです。
207	A-203 A-206	SD31の改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 *既存図 3階建具キープラン ：撤去 *既存建具表 ：残置	お見込みのとおりです。
208	A-201 A-207	AD12の改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 *既存図 1階建具キープラン ：撤去 *既存建具表 ：残置	お見込みのとおりです。
209	A-202 A-209	AG5の改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 *既存図 2階建具キープラン ：撤去 *既存建具表 ：残置	お見込みのとおりです。
210	A-202 A-211	SG4Aの改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 *既存図 2階建具キープラン ：撤去 *既存建具表 ：残置	お見込みのとおりです。
211	A-201 A-212	SSD14外部側の改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 *既存図 1階建具キープラン ：撤去 *既存建具表 ：残置	お見込みのとおりです。
212	A-201 A-213	WD15の改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 *既存図 1階建具キープラン ：撤去 *既存建具表 ：残置	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
213	A-201 A-213	S11の改修工事（残置／撤去）に下記の相違があります。撤去として宜しいでしょうか。 ＊既存図 1階建具キープラン ：撤去／框残置 ＊既存建具表 ：撤去	撤去／框残置です。
214	A-201	既存図 1階建具キープランで下記符号の図示がありますが、既存建具表で不明です。寸法／形式を御指示下さい。 ＊AW1X_1（図面なし） ＊AW1X_2（図面なし）	AW1X_1：上段w1750xh2410 下段w1750xh250 共にFIX窓。AW1X_2：w1200+600 h2200 FIX窓です。
215	A-201	既存図 1階建具キープランで舞台花道部にSSG1補修残置の図示がありますが、既存建具表で不明です。改修ありの場合は、寸法／改修内容を御指示下さい。	舞台下の空調リターンガラリーを指します。寸法はh600 w24060 縦方立w30 w970前後の連窓形式。傷補修及び再塗装程度です。
216	実施要領 P12	「提案可」と通知したVE提案項目の概要は提案者の独創性や競争優位性を損なわない範囲で公表されるとありますが、公表された提案項目を他事業者が提案に取り込むことは可能でしょうか。（技術対話で提示していなかった場合でも）	お見込みの通りです。公表内容については提案者の独創性を損なわない範囲とします。
217	実施要領 P12、P13	「提案可」と通知したVE提案項目の概要は提案者の独創性や競争優位性を損なわない範囲で公表されるとありますが、P13に記載の通り、公表される場合は提出者の承諾を経ると考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。なお競争の公平性を保つために必要な情報は承諾の有無に関わらず公表することがありますのでご理解ください。
218	実施要領書 P16	審査委員会、及び評価過程は非公開と記載ありますが、必要に応じて情報公開請求をおこなう事は可能と考えて宜しいでしょうか。	委員会及び評価過程（委員会の会議録、各委員の採点表など）は、委員間の率直な意見の交換や意思決定の中立性を不当に損なわれることがないように非公開とすることが前提となっていることから、情報公開請求による場合も鳴門市情報公開条例第7条第5号の規定により不開示となることがあります。
219	実施要領書 P17	プレゼンテーションにプロジェクターを持ち込むことは可能でしょうか。	可能です。
220	実施要領書 P19	技術提案書に記載された内容等の履行状況の確認時期と確認方法をご教示ください。	発注者の要求水準は「要求水準書P6（8）要求水準の確保及び技術提案等の履行確認について」の通りです。それを上回る時期や方法については評価基準別表 技術提案評価 A業務全般 ア）業務実施方針と体制でご提案ください。
221	実施要領書 P19	技術提案書に記載された提案が採用されない場合、それに伴うコスト変動はその都度協議と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
222	要求水準書 P7	「建物引渡し後も1年間は発注者の求めに応じ、建物の各設備などの調整を行うこと」とありますが、調整内容によっては有償対応と考えて宜しいでしょうか。	優先交渉権者決定後の発注者との協議によります。
223	要求水準書 P9、P11	各種調査等業務費用を検討する為、調査対象範囲及び調査内容をご提示頂けないでしょうか。若しくはP11に記載の「別途指示する点検チェックリスト」を提示頂けないでしょうか。	本事業を進めるうえで必要と思われる調査等業務費用を見込んで下さい。
224	要求水準書 P12	提出するCADデータはJWW形式の対応が難しい場合は、dxf形式のみとして宜しいでしょうか。	優先交渉権者決定後の発注者との協議によります。
225	要求水準書 P13	工事内容や施工計画を説明する近隣住民の対象範囲をご提示頂けないでしょうか。	優先交渉権者決定後の発注者との協議によります。
226	要求水準書 P15	室内空気中化学物質の測定について、対象室をご提示頂けないでしょうか。	基本設計図書A101⑧化学物質の濃度測定に測定対象室を30室と記載しておりますが、具体的な対象室については契約締結後の発注者との協議によります。
227	要求水準書 P17	電話設備、情報ネットワーク設備、セキュリティ設備の現況図面をご提示頂けないでしょうか。	既存図及び現地確認等にてご確認願います。
228	要求水準書 P17	上記図面が提示できない場合、本業務に関わる工事内容が確定できない為、工事費は別途扱いとさせて頂けないでしょうか。	上記回答を参照して下さい。配管工事費は本事業に含むものとします。
229	要求水準書 添付	事業関与者役割分担表に記載の定例会議出席について、リモート会議での出席も認められますでしょうか。	原則1人以上は対面参加と想定してください。
230	設計・施工 仮契約書（案） 第22条 第1項	工事材料の中等の品質について、具体的に特定が困難な為、各材料について発注者と受注者との間で協議し、請負代金額に変更が生じる場合は、変更が可能と考えて宜しいでしょうか。	優先交渉権者決定後の発注者との協議によります。
231	設計・施工 仮契約書（案） 第22条 第2項	「監督員の検査を受けて使用すべきものと指定された材料」について、具体的にご教示ください。	公共建築工事標準仕様書や建築工事監理指針にて指定されているものを原則として、詳細は発注者との協議によります。
232	設計・施工 仮契約書（案） 第23条 第1項	「見本検査を受けるものと指定された工事材料」について、具体的にご教示ください。	公共建築工事標準仕様書や建築工事監理指針等にて指定されているものを原則として、詳細は発注者との協議によります。
233	A006	外構工事の工事範囲と工事内容が不明です。外構改修図をご提示頂けないでしょうか。	当該図にあるものを本工事とします。
234	A007	1階和風ロビーの使い方が不明です。使い方や付帯工事の家具・什器図面をご提示頂けないでしょうか。	来館者の待合スペースとしての使用を想定しています。家具・什器については今後検討する予定です。
235	A022	断面図に地下受水槽との記載があるが、受水槽は外構南側設置が正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
236	A023	ハザード水位を考慮した地上外部に受水槽を移設とありますが、受水槽設置レベルをご教示ください。（見積条件を合わせる為に設定をお願いします。）	受水槽設置レベルは2 m程度として下さい。
237	A026	屋根防水改修について、性能保証10年が必要な範囲をご提示頂けないでしょうか。	全ての防水改修範囲が対象となります。
238	A026	屋根防水改修について、性能保証10年が可能なシート防水の仕様（メーカー名/品番）をご提示頂けないでしょうか。	参考：田島ルーフィング ビュートップ同等品以上です。
239	A026	屋根ALC版面は現況全て割れがなく平滑であるとして宜しいでしょうか。	屋根側の割れは無いものとしてください。実施設計段階での調査をお願いします。
240	A028	中庭南面のDC吹出口ルーバーの改修方法を確認と記載ありますが、具体的な改修方針をご提示頂けないでしょうか。	ルーバーに「たわみ」が発生しています。改修方法については実施設計にて検討して下さい。A274図の色塗を参照願います。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
241	A028	上記方針が提示できない場合、本業務に関わる改修工事内容が確定できない為、工事費は別途扱いとさせて頂けないでしょうか。	当該改修に要する費用については工事費に含むものとします。
242	A030	サイン工事に関して各種検討との表記ですが、A152図の仕様と数量見込めば問題ないでしょうか。	A152図のサイン参考数量表は最低限必要と思われるサインについて記載しているため、その他必要に応じてサインを見込んで下さい。
243	A030	家具・プロダクト工事は全て別途工事とし、それに関する設計業務も全て別途として宜しいでしょうか。（最新工事図面の提供は実施）	図面にはない家具・プロダクト工事は全て別途工事です。
244	A034	「※事前協議などで協議不要を確認した法令、条例等も明記している」とありますが、協議不要となった法令、条例をご教示ください。	A318を参照願います。A318に明記無き法令及び条例は、協議不要としています。
245	A100d	設備機器設置に対する構造物補強が建築工事とありますが、設備機器移設や下手舞台ギャラリー追加、舞台機構設備に対する構造物補強計画の図面がありません。補強はなしと考える宜しいでしょうか。補強が必要な場合、構造図をご提示頂けないでしょうか。	No.37の回答をご参照願います。
246	A100d	屋外サインが建築工事とありますが、A152図には屋外サインがありません。屋外サインはなしと考えて宜しいでしょうか。屋外サインが必要な場合、サイン図をご提示頂けないでしょうか。	屋外サインは別途工事です。
247	A100d	避難器具が建築工事とありますが、図面には避難器具がありません。避難器具はなしと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、仕様と数量が分かる図面をご提示頂けないでしょうか。	避難器具の計画はありません。
248	A100d	駐車場管制設備が電気設備工事とありますが、図面がありません。駐車場管制設備はなしと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、仕様と数量が分かる図面をご提示頂けないでしょうか。	駐車場管制設備はありません。
249	A100e	G：排水設備・外構関連で本工事の内容がありますが、図面がありません。外構改修図面をご提示頂けないでしょうか。	既存図及び現地確認にてご確認願います。
250	A101	1-20：完成図等で竣工写真の提出仕様とカット数が要求水準記載のものと不整合です。設計図A101を正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
251	A104	6-15：軽量鉄骨壁下地で既存下地で残置する箇所は既存調査を行い、監督員と協議し、その安全性を確認することとあるが、安全性がある条件で見積しても宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
252	A104	6-26：壁紙張りで塗装下地用クロスの施工箇所が「アトリウム、1～4Fロビーなど」とありますが、図面にありません。対象なしとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
253	A124	旧シーリング照明室下部の舞台照明器具の記載がありますが、ST010図の舞台照明設備図にはありません。舞台照明設備図を正として宜しいでしょうか。	舞台照明設備図を正としてしてください。
254	A118 A125	中間階ロビーの床レベルがA118図では1FL+2832ですが、A125図では1FL+2829です。A118平面図を正として宜しいでしょうか。	結構です。実施設計にて寸法を確認して下さい。
255	A119	3階諸室に対しての非常用進入口は設置不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
256	A131	1階天井伏図に記載の記号の意味をご教示ください。（C.B./St.B.） 他階には記号がありませんが、一切ないものとして宜しいでしょうか。	C.B.：カーテンボックス St.B.：鋼製照明ボックスを示しています。地下リハーサル室などにC.B.がありますが、特記項目数量を参照ください。
257	A135	客席後方の電動吸音カーテンが別途との記載があります。全て別途工事として宜しいでしょうか。	電動吸音カーテンは本事業に含むものとします。
258	A135	フォロースポット・ギャラリーは断面図の通り、部屋としての区画は不要と考えて宜しいでしょうか。（フォロースポット投光器の遮音対応、発熱による空調対応は不要でしょうか。）	お見込みのとおりです。
259	A135	各シーリングギャラリーの天井ハッチに遮音性能は不要と考えて宜しいでしょうか。また、昇降方法について詳細をご指示ください。	天井スラブ同等の遮音性能確保を目標とした、特注天井ハッチです。詳細は実施設計にて検討して下さい。昇降方法はSt固定タラップ w400 h2000 SOPです。
260	A137	凡例にある仮設車椅子席と立見席エリアを明示してください。	仮設車椅子席は中通路等を計画しています。立見席エリアはA317を参照願います。
261	A137	客席椅子の足元灯の設置個数をご教示ください。	120です。詳細は実施設計にて検討して下さい。
262	A137	客席椅子の足元灯について、椅子仕様：コトブキ/TS-1212Kが床ボルト固定のスタッキングチェアです。足元灯の固定方法について、詳細をご教示ください。また足元灯の工事区分をご教示ください。（客席椅子工事or設備工事）	同製品の仕様に準拠します。工事区分は客席椅子工事です。
263	A137	客席椅子の側面パネルについて、設置個所は縦通路側のみと考えて宜しいでしょうか。着脱椅子席部縦通路側にも必要でしょうか。	設置個所は縦通路側を原則とします。
264	A136 A140	前室1-1/1-2、上手下手通路部分の屋根の詳細をご指示ください。（屋根面の下地仕上、天井面の下地仕上等）※A262図の新設乾式床詳細	RC部分：RCt120 乾式部分:根太鋼50x50xt2.3@900mm程度 FGBt8+8 EP。
265	A141	南側展開図の下側電動暗転吸音カーテンのサイズがH1800とありますが、寸法が間違っています。H2725として宜しいでしょうか。	A153図に記載の寸法を正として下さい。
266	A143	中庭の防水がシート防水とあるが、A301図ではアスファルト防水です。アスファルト防水を正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
267	A143	フラワーボックスのグレーチング蓋がSTですが、A301図ではSUSです。STを正として宜しいでしょうか。	SUSを正として下さい。
268	A144	地下1階に受水タンクスペースとあるが、受水槽は外構設置が正として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
269	A146	ホール客席床仕上がフローリングとありますが、現状塩ビタイルt2の為、床仕上レベルに支障が生じます。床仕上レベルを変えないよう、既存床下地コンを研り、セルフレベリングの上+下地合板+フローリング仕上となるのでしょうか。	既存図D25より躯体スラブ上の寸法が、床仕上と下地モルタルあわせて厚み45mmあります。そのため、モルタルまでを撤去、下地モルタルの上、フローリング仕上げとしています。
270	A146	舞台床は既存のままとありますが、補修は一切不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、その補修方法と範囲をご教示ください。	部分補修を想定しています。現地確認のうえ必要に応じて補修を見込んで下さい。
271	A149	多目的室床仕上がフローリングとありますが、現状塩ビタイルの為、床仕上レベルに支障が生じます。床仕上レベルを変えないよう、既存床下地コンを研り、セルフレベリングの上+下地合板+フローリング仕上となるのでしょうか。	既存図D23及び24より躯体スラブ上の寸法が、床仕上と下地モルタルあわせて厚み30mmあります。そのため、モルタルまでを撤去した後、下地モルタルの上、フローリング仕上げとしています。
272	A206	建具表特記欄記載のSD補修方法を具体的にご教示ください。	現地状況を確認のうえ必要な補修を見込んで下さい。
273	A207	建具表特記欄記載のAW補修方法を具体的にご教示ください。	現地状況を確認のうえ必要な補修を見込んで下さい。
274	A207	建具表欄外特記に「破損したガラスは強化ガラスに変更」とありますが、対象範囲はA208図の赤囲みのガラスと考えて宜しいでしょうか。	A208図の赤囲みのガラス数量+安全率として一定の数量を見込んでいます。交換枚数は現地を正とします。
275	A209	AGの補修方法を具体的にご教示ください。	傷及びシール補修程度です。詳細は実施設計にて検討して下さい。
276	A210	WLスリット窓と色光窓の補修方法を具体的にご教示ください。	既存アクリル板及び周囲の補修清掃及びシール補修程度です。詳細は実施設計にて検討して下さい。
277	A211	SGとSWの補修方法を具体的にご教示ください。	傷、塗装及びシール補修程度です。詳細は実施設計にて検討して下さい。
278	A214	電動式排煙機構設備に改修するAWについて、開放：電動、閉鎖：手動でしょうか。それとも開放閉鎖共電動でしょうか。	開放閉鎖とも電動として下さい。
279	A220	AW共通事項で「隠し框サッシ」の記載がありますが、該当建具符号をご教示ください。	該当建具はありません。
280	A220	AW共通事項で「横連窓サッシ」の記載がありますが、該当建具符号をご教示ください。なお、A455詳細図とありますが、が等図面がありません。詳細をご教示ください。	該当建具はありません。
281	A225	AW_N31について、建具H1900ですが、構造図は躯体開口H1350です。建具H1350として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
282	A261-264	新設乾式床仕様について、場所によって仕様が異なると思われます。各床仕様をご教示ください。	21、109、115、118、264回答参照。ホール内上手通路、下手通路：根太鋼50x50xt2.3@900mm程度 FGBt8+8 EP。水平庇上下面：FGBt8+8木練付。
283	A314	地下1階リハーサル室通路に排煙設備は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
284	A311-314	機械排煙設備が必要な室は客席と舞台のみで、その他は自然排煙設備や告示等による排煙設備免除と考えて宜しいでしょうか。	地下リハーサル室3室は機械排煙です。
285	A318	日影規制がかかりますが、敷地境界線が不明です。日影規制に関しては現状で問題なくクリアできていると考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
286	A319	地下リハーサル室にスプリンクラー設備を設置とありますが、範囲はリハーサル室3室のみで各倉庫と廊下には不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
287	E001	分電盤は既設流用か適宜更新とあるが、見積条件を統一頂けないでしょうか。	分電盤は更新で見込んで下さい。
288	E002	給油口ボックスの配置位置、及び燃料タンクまでの配管ルートと配管部分の単独区画の要否、仕様をご教示ください。	区画は必要です。仕様については適当なものを想定してください。
289	E019	非常時の空調換気対象室をご教示ください。	対象室はございません。
290	E020	発電機の稼働時間は39時間で目標の72時間を満たしていませんが、運用上で対応するという考え方で宜しいでしょうか。	基本設計図書E-002(カ) 非常用発電設備をご参照願います。
291	LE002	特注ルーバー設置工事は設備工事（照明器具側）と考えて宜しいでしょうか。	建築工事です。詳細は実施設計にて検討して下さい。
292	LE003-009	什器照明（FFE）とスタンドライト（FFE）は別途工事と考えて宜しいでしょうか。	図面に明示されている項目と数量は本工事です。
293	LE0014	舞台脇花道に床埋込照明器具（HK1）がありますが、建築図では舞台床の改修はありません。詳細について、ご教示ください。	現地確認等にて必要に応じて改修を見込んで下さい。
294	M002	排煙設備で「防災区画を区分し」とありますが、建築的な区画工事は無しと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
295	M002	排煙設備で「地下は機械排煙機を更新する」とありますが、地下に排煙機は無い為、誤りと考えて宜しいでしょうか。	リハーサル室3室を対象とし、機械排煙設備を設置します。
296	M003、008	排煙機（スタジオ）とありますが、該当室が不明です。該当室と排煙機設置場所、ダクトルートをご教示ください。	当該室は上記です。排煙ルートは各室から、天井を経由し、西側室外機置場に排煙します。
297	M009	客席と舞台の排煙用ダクトが再利用となっていますが、排煙機の設置位置が変更になっている為、新設が必要ではないでしょうか。	排煙ダクトは新たに計画しています。詳細は実施設計にて検討して下さい。
298	M012	ポンプ室付受水槽は建築物扱いとなりますか。建築物となる場合、確認申請は必要となりますか。必要となる場合、ポンプ室付受水槽のみの申請と考えて宜しいでしょうか。	事前協議にて申請は不要として進めています。
299	M014	客席/舞台排煙機の設置位置が意匠図と不整合です。意匠図が正と考えて宜しいでしょうか。その際のダクトルートをご教示ください。	意匠図が正です。設備図の「上部排煙機室」は「客席上部屋根」と置き換えてください。ダクトルート等の詳細は実施設計にて検討して下さい。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
300	ST003	ST003図とST011図でステージフロントスピーカーの記載がありますが、ST004図とST006図には記載ありません。ステージフロントスピーカーの設置はありますか。ある場合、意匠図では舞台床の改修は無いとありますが、改修が必要ということでしょうか。その場合、改修方針をご教示ください。舞台框部分は客席空調チャンバー空間になっています。	ステージフロントスピーカは設置する計画ですが、納まり等は実施設計にて検討して下さい。
301	ST006	客席後方等に舞台照明と舞台音響のコネクター盤を設置とありますが、設置位置と納まりをご教示ください。また操作卓からコネクター盤までの配線は露出と考えて宜しいでしょうか。	納まり等は実施設計にて検討して下さい。
302	ST007	スピーカー昇降装置が3台見込まれています。ST010図ではプロセニウムスピーカーが天井内に吊られています。天井内に格納するシステムが必要でしょうか。それとも露出設置でしょうか。	天井内に格納することは計画していません。
303	ST007	天井音響反射板と側面音響反射板の重量はST005図のB案図中の数値と考えて宜しいでしょうか。	重量は過去事例の数値を参考としています。実施設計において形状及び仕上げ等を踏まえ重量を算出して下さい。
304	ST007 ST008	幕設備に東西幕の記載がありますが、吊物機構設備にはありません。東西幕の吊り方の詳細をご教示ください。	舞台袖上部の梁下に固定レール（W）を設置し東西幕を吊り込む計画としています。開閉は手動開閉を予定しています。
305	基本設計図書 M001 1.設備更新概要	既設ダクトは清掃し再利用と記載が御座いますが、予定価格算出においてどの範囲を対象として見込んでいますか。ダクトサイズにおいて（例250×250、250φ以上が対象）提示願います。	全てのダクトを対象範囲とします。
306	基本設計図書 M001 4.1空調と設備	設計用室内設定値(目標値)の相対湿度はあくまでの目標値であり既設機器更新後も既存と同じく概ね成行が想定されます。既存と同程度の機器仕様と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
307	基本設計図書 M011～M013	全熱交換器を新設していますが0A及びEAダクトの取入位置は基本計画においてどの様に計画されていますか。	ベントキャップの新設、コア抜きにて計画します。
308	基本設計図書 M011～M013	既設機器と更新機器の記載がありますが、更新機器に記載のない機器は更新不要と判断してよろしいでしょうか。例：EF-3客席排気ファン、EF-4舞台上部排気ファン、EF-10映写室排気ファン等	原則、全ての既存設備機器の撤去更新とします。
309	基本設計図書 M003 階別更新項目	舞台、客席部等の消音に考慮が必要な諸室のレベル（NC値）を御指示下さい。	ホール及び多目的室：目標値 NC-20、許容値 NC-25 リハーサル室：許容値 NC-30（空調方式を床置き式空調機とします）。
310	基本設計図書 M002 4.7給水設備	引込管40φと記載があります。計算結果と水量により選定した引込口径で間違いのないのでしょうか。M012図では50φの記載があります。	M012図を正とします。
311	基本設計図書 M002 4.7給水設備	受水槽容量12m3の算出に関して貯蔵時間を2時間としているが鳴門市水道事業課の基準によると5時間と規定があります。貯蔵時間5時間の場合は30m3となります。事前協議の結果が2時間なののでしょうか。	国交省基準にて設計しています。過去のホール劇場設計事例から災害対応を行う場合でも2時間として計画しております。今回規模の収容人員で5時間の規定に従った場合、実際の運営で受水槽内の水が腐敗することが想定されます。実施設計において水道事業課との協議や過去事例、運用方法等を考慮し、詳細検討して下さい。
312	基本設計図書 M002 4.8排水設備	排水設備は現在も浄化槽設備を利用し排水を行っていますでしょうか。改修工事により浄化槽機能停止し公共下水へ放流済みであれば現況資料の提供をお願いします。	現在は公共下水道に放流しています。下水道接続工事に係る図面データを提供しますので特定事業推進課まで申し出てください。
313	基本設計図書 M002 4.10消火設備	リハーサル室へのスプリンクラー新設に関して消火用水槽の水源が既存では110m3程度と見受けられますが、12.8m3を追加する必要性がございます。既存消火水槽の容量を12.8m3増やすことは可能でしょうか、消火用水槽12.8m3の新設を計画していますでしょうか。	調査を行い、容量を推定していますが、実施設計にて改めて検討して下さい。
314	基本設計図書 M002 4.10消火設備	防火対象区分 1項イの場合は全館スプリンクラー設備が必要であると認識しておりますが、既存の機器更新で問題ない旨は消防協議においてクリアされていますでしょうか。	基本設計の内容で、建築主事及び消防と事前協議済です。
315	基本設計図書 P(E-001, E-013, E-015)	電灯動力幹線についてですが、受変電設備移設に伴う、幹線経路の再構築経路は基本設計図書で計画しているルートを構築できると考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりですが、詳細は実施設計にて検討して下さい。
316	基本設計図書 P(E-001)	一般照明設備についてですが、3.2.電気照明計画に記載されている部屋以外の照明は既存機器と同等のLED器具への更新と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
317	基本設計図書 P(E-001)	外灯についても更新対象でしょうか。更新対象の場合は灯具のみの更新でしょうか。外灯ポールも含めて更新でしょうか。	外灯など外構照明計画は別途工事です。
318	基本設計図書 P(E-001)	誘導灯設備についてですが、福祉のまちづくり条例に準じた更新は記載がないので不要と考えてよろしいでしょうか。	更新対象となります。
319	基本設計図書 P(E-001)	コンセント設備についてですが、計画概要に記載の項目が、今回新設分岐回路分でよろしいでしょうか。他に新設分岐回路として見込む負荷があればご教示ください。	詳細は実施設計にて検討して下さい。必要と想定される回路等を見込んで下さい。
320	基本設計図書 P(E-002)	受変電設備についてですが、太陽光発電の系統連系はみなし低圧連系での系統連系でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
321	基本設計図書 P(E-002)	非常用発電設備ですが、消防用防災負荷出力のみで300KVA程度必要となります。災害停電時は保安負荷での運用とし、火災時に保安負荷を切り離し、防災負荷にて電源供給と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
322	基本設計図書 P(E-002)	非常用発電設備の燃料タンク容量についてですが、950Lでは72時間持ちません。別途72時間もたすための燃料タンク（地下タンク等）は必要でしょうか。	地下タンクは不要です。
323	基本設計図書 P(E-002)	電話・構内情報通信設備、テレビ共聴設備についてですが、既存現況図面に記載がありません。機器配置及び配線がわかる資料をご教示ください。	現地確認等にてご確認願います。テレビ共聴設備については、No.338をご参照願います。
324	基本設計図書 P(E-003)	誘導支援設備についてですが、音声ガイド標識システムのことででしょうか。	④音声誘導設備については、ご質問の音声標識ガイドシステムのことです。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
325	基本設計図書 P(E-004～011)	各室諸元表についてですが、既設撤去更新の対象室はわかるのですが、個数がわかりません。更新が必要な数量について各室の機器台数をご教示ください。	既存図を参照願います。
326	基本設計図書 P(E-013)	建築排煙窓更新に伴う電気設備改修についてですが、既存と同等の更新と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
327	基本設計図書 P(E-015, E-017)	既設キュービクルに3Φ4W250KVA変圧器（舞台照明用）が撤去で、更新後は1Φ3W500KVAとなっています。更新後の変圧器は舞台設備の仕様に合わせて変更対応でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
328	基本設計図書 P(E-016)	屋外油庫についてですが、保安距離が0.6mとなっています。屋外危険物貯蔵所の保有空地は考慮不要と考えてよろしいでしょうか。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
329	基本設計図書 P(E-017)	受変電単線結線図についてですが、消防・防災負荷三相動力電源および、保安照明・コンセント電源が非常時のみの電源稼働となっています。保安照明・コンセントについては非常時のみの使用と考えてよろしいでしょうか。	非常用発電機機側盤の切替器を経由しますので、常時非常時電源供給を想定しています。
330	E-001 E-012から E-015	3.電気設備項目別計画概要(7)電灯設備 ①電灯幹線・既設電灯盤を撤去し、・・・電灯分電盤を同位置に設置する。 ②一般照明設備・分電盤は既設流用を原則とするが・・・ ①と②のどちらが正でしょうか。	①を正とします。
331	E-001	3.電気設備項目別計画概要(7)電灯設備 ②既存照明器具並びに・・・全撤去更新とする。 3.2.電気照明計画に記載なきエリアは、既設図面と同等の照明器具を選定でよろしいでしょうか。	LEDの同等器具で可とします。
332	3.2. 電気 照明計画	電気照明計画L E 001・L E 002・L E 0011・L E 0012記載の器具につきまして同等品のメーカー選定採用としてよろしいでしょうか。	発注者との協議により同等品以上と認められる場合は可とします。
333	E-004 から E-011	照明制御方式におきまして集中操作用の照明制御盤は1階事務室設置計画でよろしいでしょうか。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
334	E-001 E-004	3.電気設備項目別計画概要(イ)コンセント設備 ・別紙各室諸元表に基づく、・・・ 諸元表記載のコンセント○印 部屋につきまして既設コンセント設置が無い部屋 設置がある部屋の最低設置数をご指示お願いします。 ■既設電灯コンセント図面E-18からE-22図参考でよろしいでしょうか。	○印…原則は、既設コンセントがある室で配線器具更新する。但し実施設計時に追加が必要な場合はコンセントを追加します。詳細は実施設計にて検討して下さい。
335	E-004 から E-011	3.電気設備項目別計画概要(イ)コンセント設備 電気設備 各室諸元表の備考欄に記載指示ほか、必要専用電源があれば、設置場所と負荷容量をご指示お願いします。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
336	E-002 E-020	3.電気設備項目別計画概要(カ)非常用発電設備 ・自家発電機は、商用電力の復旧および・・・72時間のうち・・・ 負荷率25.6%では39hとなっていますが最小限起動時間の想定内でしょうか。	想定内です。
337	E-017	非常用発電機の商用側電源は、低圧動力配電盤2の非常用発電機用遮断器より非常用発電機に接続。非常用発電機実装D T (商用－発電切替)より防災負荷保安負荷に接続されているでよろしいでしょうか。 非常保安電灯配電盤の電源供給は防災負荷始動時はM gにて切り離してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
338	E-002 E-003	3.電気設備項目別計画概要 (7)テレビ共聴設備について受領しました既設図面に記載がありません。 既設の設置位置がわかる資料のご指示をお願いします。	1階事務室 ガスコンロの下部に設置されています。
339	S T 002	舞台袖(上手・下手)の持ち込み機器用仮設盤の想定負荷容量をご指示お願いします。 中継車用ケーブル管路、接続盤の有無についてもご指示をお願いします。	暫定ですが、動力電源盤3φ3W 100kVA (1面) 舞台照明持込電源盤1φ3W 100kVA (2面) 舞台音響持込電源盤1φ3W 60kVA (2面) 映像持込電源盤1φ3W 60kVA (2面) 程度を予定しています。尚、中継車接続盤は計画しておらず、仮設ケーブルルートを舞台から搬入後部に計画することを想定してください。
340	S T 007	舞台機構制御盤負荷容量をご指示をお願いします。	3φ3W 300kVA程度を想定しています。
341	3.1電気設備	電気設備機器の指定メーカーがありましたらご指示をお願いします。	指定はありません。
342		舞台照明設備・舞台音響設備の指定メーカーがありましたらご指示をお願いします。	指定はありません。
343	4. 機械設備	機械設備図に機器記号が記載なき機器に記号を記載をお願いします。 機器負荷容量に変更がありましたらご指示をお願いします。	質疑箇所が不明です。
344	E-001	一般照明器具については配線も撤去更新、コンセント設備については器具のみ撤去更新という理解で宜しいですか。	質疑内容の範囲は全て撤去更新します。
345	E-001	同上、照明器具用配線を更新するためには、建築概要内容に関わらず、実際は天井の大部分を撤去する必要があります。その見込み方で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
346	E-001	上述No. 344のコンセント設備の配線を転用する場合、その配線が問題なく利用でき、また既設図面通りに敷設されている(施工時に追いかける)として見込むことで宜しいでしょうか。不可の場合、具体的な見込み方をご指示願います。	弱電は全て更新します。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
347	E-001	上述No. 344のコンセント設備の配線を撤去更新する場合、その壁面の仕上げボードまでも撤去更新する必要が発生します。その理解で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
348	既設図面	既設図面に記載のうち配線配管、器具類が現地に設置されています。更新が必要な場合、その数量をご指示願います。	既存図及び現地を正とします。
349	A100a	PCBの調査を行う記載がありますが、本来は既に調査済みの内容と推察しますが、必要でしょうか。 必要な場合、照明器具、変圧器、真相コンデンサについて調査の必要なセット数をご指示願います。 尚、万が一、含有されていた場合、PCBは発注者保管となります。	PCB調査は不要です。
350	M001-1	ホール、前室等の排煙設備について、概略ルートの提示をお願いします。（鉄骨支持、天井仕上げ取合い等の検討要）	詳細は実施設計にて検討して下さい。
351	M001-1	小サイズダクトは清掃できない為、既設ダクトの清掃範囲（基準）の提示をお願いします。	小サイズダクトも清掃の対象とします。
352	M001-1	空調配管はすべて更新に対し、ドレン配管も含まれますか。再利用であれば、管内洗浄が必要かと思います。	配管は全て更新します。
353	M001-1	給水管の更新範囲の提示をお願いします。	給水管は全て更新します。
354	M001-4. 1 (2)	設計用屋内設定値は成り行きとして宜しいでしょうか。現状のシステムでは設定値に集束するのではなく、あるレンジで暴れるものと考えます。	屋内設定値は目標値です。
355	M002-4. 8	排水管ルートは、梁貫通となるため、既設ルートで施工するとありますが、土間埋設配管及び外構埋設配管等は、既設利用として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
356	M002-4. 10	スプリンクラーポンプ水源等の系統図、プロットの揭示をお願い致します。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
357	M003	使用管材で空調配管は、SGP（白）と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
358	その他	既設の配管、ダクト等の参考数量表をご提示頂くことは、可能でしょうか。	既存図及び現地を正とします。
359	その他	ビル用マルチエアコンで計画する場合、25年4月から新冷媒対応となります。一方で提案資料作成期間中（2024/6末）までに各メーカーから、新冷媒の時の仕様及びコストが提示されない可能性があります。 その場合、仕様が明確になった後での増減見直し作業が発生するという理解で宜しいでしょうか。	契約締結後、発注者との協議によります。
360	その他 A100a	空調機などのフロン処理についての記載がありますが、対象となるガス配管は全て、既存建物図面に記載されていると理解して宜しいでしょうか。不足がある場合、処理するガス量をご指示願います。	既存図及び現地を正とします。処理するガス量については既存機器図を参照願います。
361	その他 A100a	アスベストの調査について、設備関連についても調査対象と考えますが、宜しいでしょうか。尚、万が一、含有されていた場合、その処理は別途となります。	必要に応じて調査を見込んで下さい。調査の結果、アスベストが含有されていた場合の処理費用については本事業に含むものとします。
362	基本設計図書 「5. 舞台設備」 ST005、007	ST005のa) 吊物機構設備でインバータ制御による昇降速度可変式の機能を設ける装置として緞帳ボタン、暗転幕ボタン、吊物ボタン、大黒幕ボタンが挙げられていますが、ST007の仕様書では一文字幕ボタン1～4及びサスペンションライトボタン1～3の制御方式が「INV」と記載されています。合わせて速度表示は一定速で表示されていますが、制御方式は「直入れ」と読み替えてよろしいでしょうか。	直入れを正とします。
363	基本設計図書 「5. 舞台設備」 ST005、007、008	ST005のa) 吊物機構設備で「プロセニアムの間口や高さを可変させるための機構として、幕地仕様のティザー及びウイングを設ける」と記載されていますが、ST007、008では仕様・配置など表記されていません。ST005の内容を優先する場合、吊物配置、数量など調整する必要がありますが、基本設計案は除外としてよろしいでしょうか。	一文字幕 1（ティザー）、袖幕 1（ウイング）と読み替えてください。
364	基本設計図書 「5. 舞台設備」 ST005	ST005音響反射板格納方式比較検討図の中で「B案の方式を採用することが望ましい」とありますがB案での反射板の荷重は40370Kgとなります。本数値は反射板荷重の上限値として採用し、かつその荷重でも建物の構造的には問題ないものとして進めてよろしいでしょうか。	No.303の回答をご参照願います。
365	基本設計図書 「5. 舞台設備」 ST007	吊物ボタン2(天井反射板前吊り)と天井音響反射板1、吊物ボタン5（天井反射板前吊り）と天井音響反射板2は反射板セッティング後は連動して昇降する必要がありますが、速度がそれぞれ3m/minと2m/minと表記されており昇降速度が異なっております。側面音響反射板の速度2m/minであることから吊物ボタン2・5の速度を3→2m/minと読み替えてよろしいでしょうか。	2m/minを正とします。
366	基本設計図書 「5. 舞台設備」 ST007、008	幕設備として東西幕の記載がありますが、吊込方式や開閉方法などが記載されていません。詳細についてご教示ください。	No.304の回答をご参照願います。
367	基本設計図書 「5. 舞台設備」 ST005、007	舞台上で使用される所作台や平台などの大道具に関する記載がありませんが、別途工事としてよろしいでしょうか。	別途工事とします。
368	基本設計図書 P(A016・A124・A135・A139 他) P (ST009)	旧シーリング照明室下に舞台照明パトンの記載がありますが、舞台照明設備仕様書には記載がありません。無しとしてよろしいでしょうか。	No.253の回答をご参照願います。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
369	基本設計図書 P (ST009)	17・18 ボーターライト 300W LED(R/G/B/LB+W)と仕様が一致する機器がございません。消費電力は異なりますが同等性能を有する機器であれば置き換え採用は可能でしょうか。	置き換えは可能です。
370	基本設計図書 P (ST009)	30 移動器具(スポットライト、スタンド等)について、仕様・数量等をご教示ください。（見積条件を統一させてください。）	本事業において必要と想定される器具を提案して下さい。
371	基本設計図書 P (LE0013)	客席照明は色温度3000Kですが、天井反射板ライトは調色仕様です。調光の際に色味が異なりますがよろしいでしょうか。	詳細は実施設計にて検討して下さい。
372	基本設計図書 P (ST009)	2・3・4の各フロアコンセントのインターネットコネクタについて、器具に接続するためDMX-Nodeが必要となり、転倒などの恐れがあるため、DMXコネクタに変更してもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
373	基本設計図書 P (ST009)	10 客席コンセント盤（客席後方）ですが、客席空間の縮小時には中央部まで操作卓接続ケーブルを伸ばす方法でよろしいでしょうか。	現場調査を経た上でコンセント盤等の設置が困難な場合は仮設ケーブル敷設での対応も可とします。
374	提案価格見積書 様式7-4	D舞台設備工事2舞台照明設備について、既設設備の撤去費は含まれますでしょうか。また含む場合は、現状の舞台照明設備図面などを頂くことは可能でしょうか。（舞台機構設備・舞台音響設備も同様）	既存設備の撤去費も含まれます。各図面については既存図をご参照願います。
375	ST011 舞台音響設備仕様書	一般的なホールの場合に設置されているエレベータマイク装置が設置されている場合、その装置は撤去でよろしいでしょうか？	お見込みのとおりです。
376	ST011 舞台音響設備仕様書	3点吊マイク装置を設けますが、既存で3点吊マイク装置が設置されている場合、撤去後、新規設置でよろしいでしょうか？	お見込みのとおりです。
377	ST011 舞台音響設備仕様書 A100f 工事区分表3	映像設備も整備するとなっていますが、映像設備機器の仕様・数量等をご教示ください。（見積条件を統一させてください。）	ST011に記載の機器については本事業の範囲としますが、映像設備に関しては回線等のインフラのみ本工事とし、機器類は別途工事とします。
378	ST011 舞台音響設備仕様書	映写室などがある場合、そこに設置されている回線は再利用と考えてよろしいでしょうか？	現場調査を経た上で再利用できる回線は再利用の可能性があります、必要回線は原則新規引き直しを見込んで下さい。
379	ST011 舞台音響設備仕様書	一般的なホール設備で設置されている舞台フロアコンセント・客席マイクコンセントがある場合、コネクタケーブル更新で良いでしょうか？	更新として下さい。
380	ST011 舞台音響設備仕様書	ホール音響設備にて設置されている事があるウォールスピーカやシーリングスピーカーが設置されている場合は撤去でよろしいでしょうか？	お見込みのとおりです。
381	A019 展示・会議室の改修 多目的室への改修2 ST011 6. 舞台音響設備	多目的室の運用パターンイメージに対し、多目的室音響機器設備仕様のスピーカー(15インチ/12インチ/サブウーハ)はそれぞれどのような使用目的でしょうか。	多目的室は様々な運用が想定されるため、ある程度の可能性を見据えての機器想定としております。場合によってはホールでの利用も行うことも想定しています。
382	ST011 舞台音響設備仕様書	ホールITV設備(カメラ)のモニターの具体的な設置位置をご指示ください。	調整室、舞台袖、楽屋、楽屋ラウンジ、ホワイエ、リハーサル室、管理事務室等の諸室を想定しています。
383	A100d 工事区分表3	「E 電気設備関連 10総合盤内に収納する各設備の監視装置」はホールITV設備の映像を映す必要がありますでしょうか？	ホールITV設備の映像モニターは別途設ける計画としています。総合盤内の監視装置とは切り離して構いません。
384	要求水準書 P14	敷地北西にある鳴門市文化会館の駐車場を現場職員および作業員の通勤車両の駐車場として無償で使用できるものとしてよろしいでしょうか。	現場職員及び作業員等の駐車場は原則受注者で確保して下さい。ただし、発注者との協議により市有地を使用する場合は有償となります。
385	A101	給排水設備は、メーター等を設置した上で施設の既設設備を使用できるものとしてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
386	-	工事着手時には、既存の什器備品類は撤去されているものとしてよろしいでしょうか。	移設可能な什器備品類については、工事着手までに撤去する予定です。
387	実施要領 P13	技術対話申込書【様式6－1】では参加者は最大5名とありますが、10名程度として頂けますでしょうか。	参加予定人数を最大10名とします。様式を再配布いたします。
388	実施要領 P13	（6）対話の実施日等 では会場と実施時間は別途通知とありますが、参加人数および企業名の公表（p17「プレゼンテーションは企業名を公表して評価します。」との記載があります）についてもご提示ください。	参加人数については実施要領P16 イ 出席者をご参照願います。プレゼンテーションは企業名を公表して行います。
389	様式6-2、6-3、6-4、6-5	対話時の提出資料様式6－2，6－3，6－4，6－5については「会社名及び会社名を類推できる固有名詞、ロゴマーク等を記載してください。」の提示がありませんが、参加者名を記載するものとしての理解でよろしいでしょうか。	受付番号、企業名の記載欄を設けた様式6-3、6-5、7-7、7-9を再配付いたします
390	実施要領 P15	『「VE項目一覧（対話済）・添付資料【様式7－6，7－7】』と「技術提案評価に係る提案書【様式7－8，7－9】」の書類には、会社名及び会社名を類推できる固有名詞、ロゴマーク等を記載してください。』とありますが、この会社とは参加者名(JVの場合は代表構成員名)のことでしょうか。	お見込みのとおりです。
391	実施要領 P15	『「VE項目一覧（対話済）・添付資料【様式7－6，7－7】』と「技術提案評価に係る提案書【様式7－8，7－9】」の書類には、会社名及び会社名を類推できる固有名詞、ロゴマーク等を記載してください。』とありますが、様式7－8には受付番号と日付記載欄しかありません。様式7－8への記載は不要でしょうか。	お見込みのとおりです。

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	回答
392	実施要領 P15	『「V E 項目一覧（対話済）・添付資料【様式7－6, 7－7】』と「技術提案評価に係る提案書【様式7－8, 7－9】」の書類には、会社名及び会社名を類推できる固有名詞、ロゴマーク等を記載してください。』とありますが、様式集（様式0_様式集）では様式7－9には「会社名及び会社名を類推できる固有名詞、ロゴマーク等は一切記載しないでください。」との記載がありますが、記載してくださいのまちがいでしょうか。	お見込みのとおりです。
393	様式6-3、6-5、7-7、7-9	各様式について、各ページに受付番号記載欄を設けてよろしいでしょうか。	各様式については受付番号及び企業名が記載できるよう様式を変更いたします。
394	様式7-9	本様式について、提案内容を補足説明する参考資料を添付してよろしいでしょうか。	公平性を損なうため参考資料等の添付は不可といたします。本様式内でご提案ください。
395	実施要領 P16	「プレゼンテーションの出席者は、配置予定技術者の中からパソコン操作者を含めて6名以内とします。」とありますが、10名程度として頂けますでしょうか。	実施要領に記載のとおりパソコン操作者を含めて6名以内として下さい。
396	実施要領 P19	15、技術提案書不履行に関する措置 技術提案書の業務全般のオ）地域振興・地域経済への貢献の提案に示された「提案価格」の提案が、受注者の責に帰すべき事由により履行できなかった場合の受注者が発注者に支払う違約金の額の算定式において、 ①「審査時の提案に基づく評価点」の範囲が不明です。評価点とは、評価基準別表の配点合計の100点でしょうか、それともオ）地域貢献の評価点10点でしょうか。 ②「履行できなかった場合の評価点」とは、オ）地域貢献で評価された点数との理解でよろしいでしょうか。	①100点です。 ②お見込みの通りです。
397	実施要項 P3	4．参加資格（1）ア-③に記載の「事後JV」を予定している場合、参加意向表明時および技術提案時には、代表企業(施工については、地元企業とJV)が設計・監理を行う企業として【様式4-2】に企業名を記載のうえ技術提案を行い、優先交渉権者決定後に、設計・監理を行う企業について、事後JVを予定する候補者へ変更することは認められるものと理解してよろしいでしょうか。	設計・監理を行う設計事務所との事後JVを想定している場合は、技術提案テーマ「業務実施方針」にて、事後JV構成員の企業名を含む体制を提案してください。なお優先交渉権者決定後に提案された体制に変更が生じる場合は発注者との協議によります。また本選定において高く評価された技術提案の履行義務は代表企業が負うものとしますので、事後JV組成の際には設計・監理を行う企業の合意を得ていただいた上でJVを組成してください。
398	実施要項 P14	（3）提出書類について 地元企業とJVを組成し、優先交渉権者決定後に「4. 参加資格（1）ア-③」に記載の設計事務所及び監理業務を担当とする候補者と事後JVを予定している場合、特定建設工事共同企業体協定書（案）【様式7-10】については、事後JV組成後(優先交渉権者決定後)に本書を提出するという理解で宜しいでしょうか。または、地元企業との特定共同企業体協定書(案)を提出し、後日、優先交渉権者決定後に再提出するという理解でしょうか。	設計事務所との事後JVを予定して提案される場合は、提案時にJV協定書を確定することは難しいため、JV協定書が契約時に変更となる可能性も考慮し『協定書（案）』として提出してください。
399	様式4-2	参加資格確認書の工事概要欄について、応募者に複数の実績がある場合には、当該部分に欄を追加して表記することとしてよろしいでしょうか。	参加資格確認書の工事概要は1件までとしてください。
400	評価基準別表	技術提案評価 A) 業務全般－オ）地域貢献－③記載の市内発注額については、鳴門市に主たる営業所を有する者以外も含むという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
401	要求水準書 P7	「建物引渡し後も、1年間は発注者の求めに応じ、建物の各設備などの調整を原則、無料で行うこと」とありますが、無償で行うべき調整業務の範囲について、具体的にご提示を頂けますか。	受注者側の責任によるものについては無償で調整等をお願いします。
402	要求水準書 P17	「関連事業との連絡調整業務」が本事業の業務範囲と、要求水準書に規定されていますが、仮契約書（案）第2条と矛盾しています。 仮契約書（案）第68条第2項に、仮契約書（案）が要求水準に優先すると記載されている通り、この場合仮契約書（案）第2条が優先されるということでしょうか。 また、必要に応じて受注者が調整業務を実施する場合の増加費用は、発注者負担でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。ただし、工事を円滑に行うための施工に関する連絡調整は受注者が行ってください。
403	要求水準書添付「役割分担表【実施設計段階】	2. 実施設計期間中の役割－4. コスト推移の管理の欄のかっこ書では「付帯設備に関するコスト含む」とあり、この項目はDB事業者が作成することとなっていますが、3. 家具・什器・機器など付帯工事への対応－5. 付帯工事の概算費用の確認では「作成」は発注者となっておりますが相違がみられます。これらについての役割分担をご教示ください。	「付帯設備」は、DB業務範囲内の設備を指しています。「付帯工事」は別発注のものを指しています。
404	設計・施工仮契約書（案）第68条 要求水準書 P1	本事業における各資料の優先順位については、仮契約書・要求水準書に記載されているとおり、以下の順で問題ないでしょうか。 ①設計・施工仮契約書（案） ②要求水準書 ③基本設計図書 ④参考資料等 ⑤提案書類等	④参考資料等は契約図書に含めません。 また⑤提案書類等の内、発注者が望まない内容や評価しない内容は、契約前に協議の上、契約範囲から除きます。

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	回答
405	設計・施工仮契約書（案） 要求水準書 P8	要求水準書において、受注者はコスト増減の管理や、契約代金額内に収める調整を行うこと等と記載されておりますが、賃金水準又は物価水準の変動、主要な工事材料の価格への著しい変動、法令変更、不可抗力による損害発生その他受注者の責めによらない事由により増加費用が発生し、減額項目で当該増加費用を吸収しきれない場合は、設計・施工仮契約書（案）第21条、第26～29条、第32条、第34条、第35条、第40条、第50条に基づき、契約代金額を超過して必要な費用をご負担いただきますようお願い致します。	請負代金額の変更については、発注者と受注者とが協議して定めることとします。
406	設計・施工仮契約書（案） 第38条第2項 要求水準書 P14	工事中の第三者損害について、受注者が善管注意義務を果たしていた場合の免責について、仮契約書（案）第38条第2項には記載がありますが、要求水準書には記載がありません。仮契約書（案）第68条第2項に、仮契約書（案）が要求水準に優先すると記載されている通り、この場合仮契約書（案）第38条第2項が優先され、受注者が善管注意義務を果たしていた場合は免責されるものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
407	基本設計図書 1. 2. 建築図面 A106・A107	特記項目数量が記載されていますが、これらの数量は、既存のものでしょうか、新設のものでしょうか、ご教示いただけますでしょうか。	新設のものです。
408	基本設計図書	耐震補強以外の構造資料についてご提示いただけますでしょうか	ご提示している資料が全てになります。
409	基本設計図書	間仕切壁（乾式壁の仕様）の資料についてご提示いただけますでしょうか	基本設計図書に記載のあるもの以外は、実施設計にて検討して下さい。